

令和5年度住宅・建築物環境対策事業費補助事業
(環境・ストック活用推進事業(うち、普及・広報に関する事業))

CLT等の新たな木質材料を用いた建築物等の
認知度の向上に資する事業者等向けの普及・広報

成果報告書

令和6年3月

一般社団法人 日本CLT協会

目次

第1章 事業の概要

1-1 事業の背景	01
1-2 事業概要	01
1-3 推進組織	02
1-4 実施期間	02

第2章 事業内容

2-1 コンテンツ紹介	03
『事例 CLTオフィス建築』	
2-2 コンテンツ紹介	25
WEBサイト「CLTから見える未来」リニューアル	
2-3 冊子プレゼントアンケート分析報告	28
2-4 WEBコンテンツアクセスログ分析結果	52

第3章 まとめ

まとめ	70
-----	----

第1章 事業の概要

1-1 事業の背景

昨今、大手ゼネコンや大手設計事務所はCLT建築物等に関し自社内で設計・施工等が、完結できつつある。しかし多くの中小企業の設計事務所や建設会社は手助けが必要なのが現状で、新ロードマップの「CLTに関する認知度が事業者等に低い」ことは否めない。そこで、その事業者等に対して以下の項目にて普及・広報を実施した。

1-2 事業概要

■Webサイト「CLTから見える未来」の修正

Webにて「CLTを利用した建築物」を用途別・規模別等検索にて、事業者にとってわかりやすく、より参考になるデータシステムを構築した。このWebを検索することで、全国自治体の公共建築から小規模な民間の身近な建築まで、CLT建築物を身近に感じていただき、設計者や事業者等が注文者（オーナー）様へのプレゼンや参考物件として活用できるようにした。

■CLT建築物冊子（解説本）『事例 CLTオフィス建築』制作

小規模な一般的なCLTオフィスの、発注者ヒアリングから設計契約・着工・竣工にいたる中での重要ポイントや参考にした書籍・構造事務所・確認審査機関・生産工場・施工店等の打合せ内容や留意点（注意すべき点）等、わかりやすいハウツー本を作成。冊子（解説本）を手にしたたり、またはWebでダウンロードすることで、CLT建築に関する初心者や実務者等の手助けになるようにした。国内で一番多く建築されている事務所建築を例とした。「（内閣官房一元窓口：CLT活用建築物整備状況（用途別）事務所：205/1052（19.5%）」

■Webサイト「CLTから見える未来」コンテンツの充実を図る

昨年度、Web閲覧で得られた情報（あらゆる業種が何に興味があり、一番必要とするもの等の調査）により、一部表現方法等に工夫を凝らし、より見やすく、より効果が出るコンテンツの組み替えや新規コンテンツの導入を行った。CLTでワード検索し「CLTで見える未来」サイトを見ることで、事業者等に人気の高いCLT建て方動画、書籍、講習会（アーカイブ）等、事業者目線でCLT建築の良さを理解していただくことで、すそ野の拡大を図った。

1-3 推進組織

本事業を事務局：日本CLT協会として「広報・ブランディングWG」
に図って推進した。

①名称

「CLT普及・広報に関する委員会」

②委員メンバー

幹事 中島洋 銘建工業(株)

主査 池田康彦 (株)鴻池組

委員 片桐真人 SMB建材(株)

勅使川原勝義 (株)エヌ・シー・エヌ

肥塚博・高橋歩夢 双日建材(株)

方波見雅彦 ジャパン建材(株)

岩坂将 (株)鳥取CLT

松永真宏 阪和興業(株)

アドバイザー 小藤捷吾 建築技術支援協会

コーディネーター 山田敏博 HUG・team Timberize

③役割

CLT広報・普及に向けた各事業実施内容を確認、検討し更なる意見を頂き推進する。実施状況を都度報告し、課題解決に当たる。開催日
(7/7, 9/8, 11/10, 1/12, 3/8)

1-4 実施期間

令和5年5月11日~令和6年3月20日

第2章 事業内容

2-1. コンテンツ紹介

『実例 CLTオフィス建築』

[日程] 企画、構成：6月～12月

原稿作成～デザイン制作：8月～1月

印刷：1月

[仕様] 仕上がりA4サイズ、中綴じ、20P

[概要] 小規模な一般的なCLTオフィスの、発注者ヒアリングから設計契約・着工・竣工にいたる中での重要ポイントや参考にした書籍・構造事務所・確認審査機関・生産工場・施工店等の打合せ内容や留意点（注意すべき点）等、わかりやすいハウツー本を作成。

[対象] 設計者、建設業者、施主など、ある程度建築の知識があり、CLT建築物の企画・設計に関係する方。

[部数] 1000部

『実例 CLTオフィス建築』



(表紙)

CLT 建築にはじめて取り組んだ実例をもとに
基本的な情報やポイント、検討事項を紹介します。

株式会社三栄工業所新築工事 概要

用途	事務所		
建設地	岩手県大船渡市		
構造・工法	CLTパネル工法		
階数	3階		
高さ	10.910m	軒高	10.621m
敷地面積	2881.42㎡	建築面積 (㎡)	344.69㎡
階別面積	1階	334.84㎡	延べ面積 (㎡)
	2階	326.09㎡	
	3階	326.09㎡	
CLT採用部位	壁、屋根、階段		
CLT使用量	加工前製品量 126.14㎡、加工後建築物使用量 126.14㎡		
CLTを除く木材使用量	113.35㎡		
CLTの仕様	(部位)	(寸法 / ラミナ構成 / 強度区分 / 樹種)	
	壁	120mm 厚 / 5層5 プライ / S60A 相当 / スギ	
	屋根	120mm 厚 / 3層4 プライ / Mx60A 相当 / スギ	
	階段	90mm 厚 / 3層3 プライ / Mx60A 相当 / スギ	
設計期間	2020年5月～7月(3ヵ月)		
施工期間	2020年10月～2021年7月(10ヵ月)		
CLT躯体施工期間	2021年1月～2月中旬(6週間)		
竣工年月日	2021年9月		

建築主・施工	株式会社三栄工業所
設計・監理	松本設計ホールディングス株式会社
構造設計・施工	ジャパン建材株式会社
設計協力	株式会社木質環境設計
CLT製造	銘建工業株式会社 株式会社鳥取 CLT
CLT加工	株式会社オノツカ
補助金	林野庁補助事業「CLT建築実証支援事業のうちCLT建築実証事業」
確認検査機関	ビューローベリタスジャパン株式会社





株式会社三栄工業所新築工事 工程表					
	協議会 [※] ・助成金関係	設計	施工	性能確認	
2020	2	CLT実証事業 応募申請書類作成	企画(2019.5~)		
	3	CLT実証事業 応募申請書提出			
	4	CLT実証事業 採択結果発表	基本設計		
	5		実施設計		120mm厚CLT壁 引張接合部試験 2仕様×7体 接合部圧縮試験 2仕様×7体 接合金物引張試験 2仕様×7体
	6	第1回 問題点洗い出し	構造設計		CLTとカラマツLVL リブ材のせん断試験 2仕様×7体
	7				CLT階段 部分モックアップ検証 1体
	8	第2回 着工前確認	確認申請		CLT階段 プレキャストコンクリート部材 試作・品質確認
	9			工事契約	
	10	第3回 木工事進捗確認		着工 基礎工事 設備工事	
	11				CLT パネル 製造
	12				CLT パネル 加工
	2021	1	第4回 工事改善点等確認	木工事	
2		第5回 実証事業取りまとめ	外装工事		
3		CLT実証事業 報告会			
4					
5			内装工事		
6					
7					
8					
9				竣工	



※ CLT 建築実証事業進行における課題解決のために設置する協議会

企画

建築主の要望やCLTに着目した理由をヒアリングします。
設計・構造・施工一緒にCLT建築の方向性を検討します。

POINT

建替前の状況

建築主の三栄工業所(金一磨社長)は、岩手県大船渡市で主に建築・土木工事を行う会社です。

旧社屋はプレハブ2階建てで増築を繰り返していたため、電気設備系統等に問題を抱えていました。敷地は川沿いの軟弱地盤にあり、支持層は35mです。

新社屋建設の計画にあたり、前身の佐々木組設立から、100年を迎えることにも縁を感じました。

CLT建築に着目した理由

金社長は、建築専門職人が減少傾向にあるため、今後の仕事を考えCLT工法による工期短縮、施工の簡素化に着目していました。さらにCLT関連のセミナー、見学会にも参加して情報を得ていました。

新社屋建設の希望

新社屋建設にあたっての希望は、大人数で講習会ができる会議室、さらに今後の人員増を考慮した事務室など、大きな空間を設けたい、そしてCLTならではの現しにも期待しています。

さらに岩手県ではまだ本格的にCLTを使った物件が無いので先駆けてチャレンジしたい、CLTを使うことにより環境配慮や次世代の建物として新しい工法・構造にチャレンジしたいという考えもありました。

〈設計・構造・施工が情報を共有〉

CLT (Cross Laminated Timber 直交集成材) 建築では、大判のCLTパネルを用いるため、設計・構造・施工の計画を一体的に進めることが重要です。

今回の工事では、設計はCLT建築が初となる松本設計、構造はCLT建築の経験が豊富なジャパン建材と木質環境設計。施工は建築主の三栄工業所が行いますが、CLT建築に関わる工事はジャパン建材が担当します。

〈CLTによる大きな空間を検討〉

CLTパネル工法によるCLT壁と軸組梁の構成とすることで、耐力壁を少なくし、広い空間を実現することができます。さらに木材を現しにすることで暖かみのある環境にします。

〈建物の軽量化を検討〉

軟弱地盤に対して、支持杭工法では工期と費用がかさむため、杭を打たなくてもよいコロンブス工法(地盤置換工法)を採用します。さらに木造3階建てにして建物の軽量化を図ります。



建て替え前の旧社屋



軟弱地盤に対しコロンブス工法を採用(①~③)

計画・設計

[基本設計]

現地調査を行い、必要であれば役所へのヒアリングを行います。
設計においてCLTパネルの特性に配慮し、コスト面についても検討します。

POINT

CLTを利用した工法

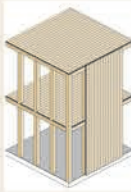
● CLTパネル工法

CLTパネルを水平力と鉛直力の両方を負担する壁として用いることができます。



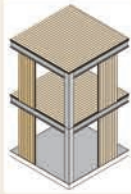
● 軸組工法+CLTパネル

木造軸組工法にCLTパネルを耐力壁や床版として用いることができます。



● 混構造

立面混構造として下層をRC造あるいは鉄骨造とし上層にCLTを用いることができます。また、RC造や鉄骨造等の床、壁等としてCLTを用いることも可能です。



図版出典：
愛媛県 CLT 普及協議会
「CLT建築物の設計ガイドブック」

CLTパネルの注意事項

製造工場によって扱えるマザーボードの大きさが異なるので、発注する工場が対応可能な最大・最小寸法を確認します。
施工現場でスムーズな施工ができるように設備配管経路についても充分検討します。



〈設計の方針〉

今回の設計では軸組工法+CLTパネルを採用し、軸組材とCLT壁を組み合わせることで、プランの自由度、無柱空間を成立させようと計画しました。

耐力壁は120mm厚CLTの梁と合板で床組を構成する、梁勝ちのCLTパネル工法(ルート2)で設計します。

さらに岩手県で初となるCLTパネル工法建築を目指します。

〈コストダウンを考えたCLTパネルの厚さ〉

CLT壁パネルは木造住宅の壁・柱材と同じ120mm厚とすることで、住宅用建具・内装建材の流用を可能にします。

CLT告示金物(クロスマーク金物)の使用には壁厚150mmが必要です。今回、オリジナルCLT金物を開発し、CLT壁厚さを120mmとすることで木造住宅向け既製建具を活用でき、トータルコストの縮減を図ります。

〈CLTパネルを念頭に間取りを検討〉

2階はホールと事務所機能を集約、3階は広いスペースを必要とする会議室の他、倉庫、休憩室を設けます。

屋根の野地板はCLTパネルにリブを取り付けた屋根パネルを採用し小屋梁を減らします。屋根パネルは軒天材としても利用します。

CLT階段は各階の動線を考慮するとともに、建物のシンボルとして建物中央に計画します。

〈CLTパネルの活用拡大〉

階段の他にも業務用エレベーターシャフトにCLTパネルを利用し、CLTの活用拡大も目指します。



3階 CLTパネル施工状況

構造

意匠設計者と構造設計者が連携して設計を進めます。



軸組図・屋根伏図・リブ付き屋根パネル図

POINT

CLTパネル工法の検討

CLTパネル工法の構造計算ルートは建物規模だけではなく必要壁量と意匠計画のプランから選定します。
構造計算ルート1の耐力壁は10kN/mまたは15kN/mと決まっています。
上記より高耐力を求めるとすれば、建物の高さにかかわらず構造計算ルート2とする方が構造効率は良くなります。

CLTパネルの注意事項

JAS工場のCLTマザーボードサイズ、歩留まりに留意した構造計画とします。

〈軽量化とコスト削減〉

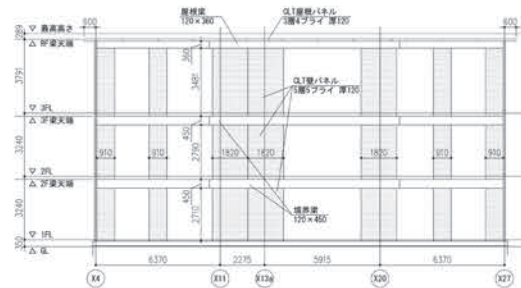
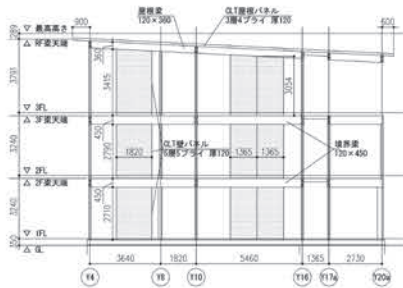
敷地の地盤の状況が良くないため、地盤沈下対策としてコロンブス工法を採用します。さらに軽量化とコストを縮減するために、床はCLTパネルを使用せず、軸組工法の床組みを採用します。軸組部材は既製品(120mm幅)を使用し、それに合わせてCLT壁パネルも120mm幅とします。
この設計条件で構造性能を担保できる接合部を開発します。

〈構造〉

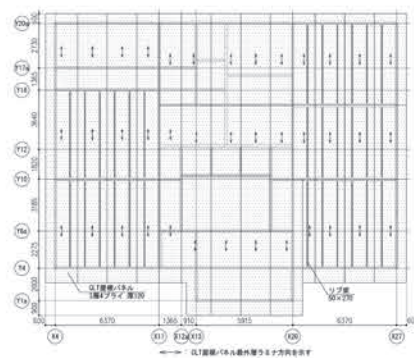
上部構造はXY方向ともにCLTパネル工法とし、水平構面は2階床は構造用合板、屋根面はCLTパネルによる構造とします(下図①、②)。
さらに、CLT屋根パネルと屋根梁(LVL)とをラグスクリューで一体化した合成梁によって、長スパンに対応します(下図③)。

〈CLTパネルサイズと種類〉

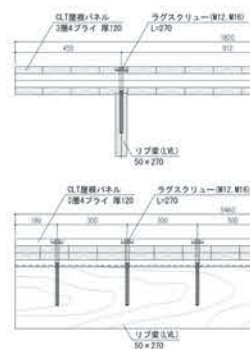
CLTパネルの特徴を活かすため、極力パネルサイズを大きくし、パネルの種類を少なくします。境界梁長さも既製品サイズの6m以下となるように設計します。



① 軸組図



② 屋根伏図



③ リブ付き屋根パネル図

補助金

事前に国や自治体の補助金の情報を入手します。
実証事業を行うことでCLTの普及につながります。



日本CLT協会 ホームページ「助成金」

POINT

補助金の目的

CLT需要の拡大に向け、関係省庁ではCLTを用いた建築物に取り組みやすい環境の整備を進めています。一般的な設計・施工ノウハウを蓄積するためのCLTを活用した先導的建築、実証的建築、性能検証等への支援として補助事業があります。

相談先

内閣官房一元窓口
<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/cltmadoguchi/shien.html>

補助金情報
 「中大規模木造ポータルサイト」
<https://mokuzouportal.jp/hojyo/>
 日本CLT協会 助成金情報ページ
<https://clta.jp/document/detail/助成金/>
 ジャパン建材 木構造建築課
ew@jkenzai.com
<https://www.jkenzai.co.jp/>

〈補助事業を検討〉

過去の助成事業を検討し、工期の見通しを立てます。
 助成事業を申し込む前に意匠、構造、設備を含めた概算設計(計画)および予算の見通しを立てます。
 実験の予定がある場合は、事業採択の前に実験計画を作成し、材料調達を精度を高めます。

〈今回の補助事業〉

窓口：(公財)日本住宅・木材技術センター
 令和元年度 合板・製材・集成材国際競争力強化対策のうち木材製品の消費拡大対策「CLT建築実証支援事業のうちCLT建築実証事業」

参考(林野庁補助事業)

「令和5年度CLT活用建築物等実証事業」
 CLTを活用した建築物の設計・建築又は部材の性能の実証、街づくり(隣接・近接箇所に複数のCLT建築物等を設計・建築)の実証、CLT製造企業との連携による寸法の標準化等を通じたCLTを低コストで安定的に供給するためのモデル的な取組(CLTの低コストな安定供給に向けた実証)等を対象とします。ただし、RC造などの他工法と工事費、工期などを比較し、CLTの利点や課題点などを明らかにする資料を作成することとします。

添付資料 1

計画概要

建築設計人：(株)木造建築研究所
 建築設計：木造建築研究所
 構造設計：(株)木造建築研究所
 施工：(株)木造建築研究所

施設概要

用途：住宅
 階数：地上3階(CLT)
 延床積：約3,740㎡

構造設計概要

軸間支持・水平抵抗要素に120mm厚高耐力CLTパネルを使用する。
 本家屋梁に合板、リブ付木CLTパネルを使用する。
 本家屋梁を構成するため、境界線ならびに軸間梁(梁桁架「LVL」)を設置する。
 既設階階層であること、エレベーターシャフトの構造設計等の留意を鑑み、水平抵抗要素を高耐力を期待させる。
 初期計画から建築申請書類との協議を重ねて内容を実証する。

CLTパネル受合部

120mm厚高耐力CLTパネルを敷設する上で重要な受合部については、高い強度性能だけでなく、断熱性(熱し断熱)や施工性に配慮した受合部を設計する。具体的には、断熱材を埋め込み、予め工場でセッティング可能で、高い強度性能が期待できる受合部をベースに、120mm厚高耐力CLTパネルに通じた出隅(配管や配管等)及び接合部等について、高耐力を期待する。高耐力を期待するCLTパネル工法の設計に必要な特性値の算出を算出する。

表1 試験マトリックス

組合せ	試験	仕様	試験体数
CLT製パネル	接合部試験	2-LS019	7
	接合部試験	4-LS019	7
	接合部試験	2-LS019	7
	接合部試験	4-LS019	7
リブ付CLT	接合部試験	2-LS019	7
	接合部試験	4-LS019	7
接合部試験	接合部試験	接合部試験	接合部試験

CLT製パネル受合部

120mm厚高耐力CLTパネルを敷設する上で重要な受合部については、高い強度性能だけでなく、断熱性(熱し断熱)や施工性に配慮した受合部を設計する。具体的には、断熱材を埋め込み、予め工場でセッティング可能で、高い強度性能が期待できる受合部をベースに、120mm厚高耐力CLTパネルに通じた出隅(配管や配管等)及び接合部等について、高耐力を期待する。高耐力を期待するCLTパネル工法の設計に必要な特性値の算出を算出する。

エレベーターシャフト

本計画は、1階から地上階へつながるエレベーターシャフトに、CLT製パネルを使用する。シャフト管を合板とし、合板・接合部等も高耐力を期待することで、CLTの活用用途を実証する。

CLT製パネル受合部

120mm厚高耐力CLTパネルを敷設する上で重要な受合部については、高い強度性能だけでなく、断熱性(熱し断熱)や施工性に配慮した受合部を設計する。具体的には、断熱材を埋め込み、予め工場でセッティング可能で、高い強度性能が期待できる受合部をベースに、120mm厚高耐力CLTパネルに通じた出隅(配管や配管等)及び接合部等について、高耐力を期待する。高耐力を期待するCLTパネル工法の設計に必要な特性値の算出を算出する。

今回の実証事業に提出した資料

CLTパネル 工法 [実施設計]

CLTパネルの有効な配置を検討して設計します。



平面図・断面図・立面図・構造図

POINT

CLTパネル工法

CLTをパネルとして、床、壁、屋根などに使用して建築物を建てる工法。

2016(平成28)年3月31日および4月1日に建築基準法令に基づき、CLTパネル工法を用いた建築物の一般的な設計手法等に関する一連の告示が公布・施行されました。

CLTパネルサイズ

基本は受注生産で、最大幅3m×長さ12mの大判パネルの製造ができます。

CLT製造工場

2024年現在、国内には8つのJAS認定工場(日本CLT協会会員)があります。

<https://clta.jp/wp-content/uploads/2023/09/20220714seizoukigyou-1.pdf>

〈3種類のCLTパネルサイズを使用〉

意匠設計と構造設計の協議を踏まえた構造計画により、CLT壁パネルは厚さ120mm、幅は910mm、1,365mm、1,820mmの3種類を使用しました。

〈3階建て〉

3階建ては1層目に必要とする耐力壁の量が多くなります。または壁1枚あたりに必要な耐力が大きくなります。

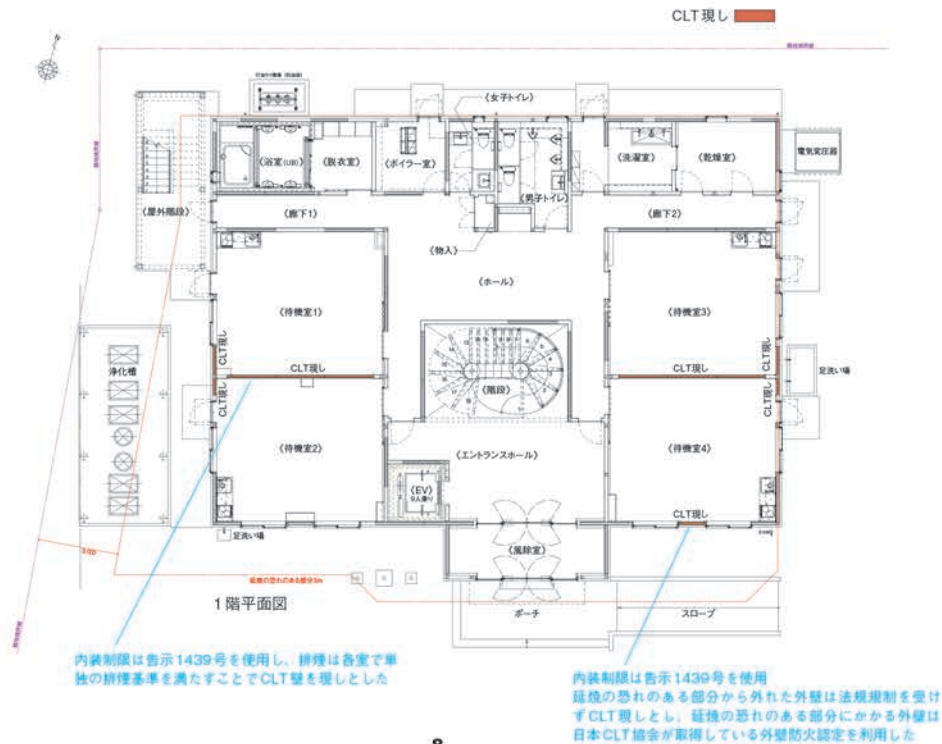
今回、構造計算ルート2でMIDAS iGenで構造解析しました。ルート2は層間変形角、剛性率、偏心率の確認を要します。

今回の敷地は建築基準法第22条区域内に位置し、耐火、準耐火建築物以外の「その他の建築物」として計画しました。計画建物は、3階以上でかつ延べ面積が500㎡を超えるため、内装制限を受けず(居室の壁(床から1.2m以下の壁を除く)・天井ともに難燃材料以上、通路の壁・天井ともに準不燃材料以上)。

また、排煙区画も必要となりました。

〈屋根〉

CLT屋根パネルは長さ9m以下、幅2m以下とし、運搬しやすい寸法にしました。



CLT現し

CLTパネルを現しにするには、内装制限、防煙区画についても検討する必要があります。

POINT

内装制限

この建物は内装制限を受ける建築物でした。
居室の壁（床から1.2m以下の壁を除く）、天井は難燃材料以上の仕上げにする必要があり、避難経路となる廊下の壁、天井は準不燃材以上の仕上げにする必要がありました。

令和2年国土交通省告示第251号の緩和措置を使う案もありますが、防火区画をした上で、床面積が100㎡以内、天井の高さが3m以上必要になるので物件ごとで検討が必要です。

※ 3階以上で延べ床面積 500㎡以上の建築物



3階休憩室（CLT壁の一部と天井リブ梁下端を現し）

〈内装制限されるCLT壁の現し〉

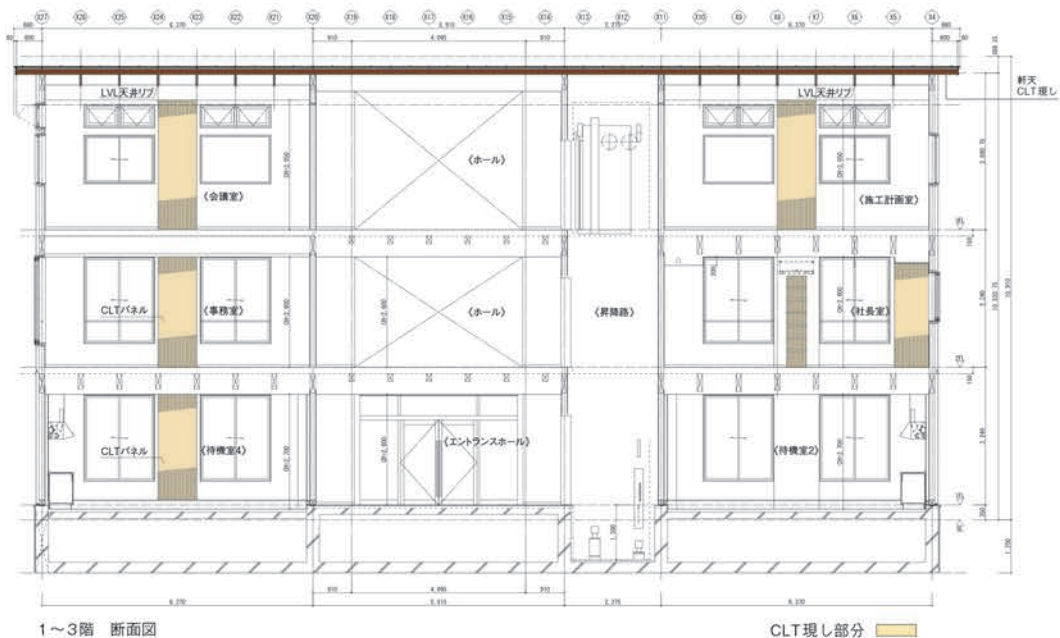
CLT壁についてはH12年5月31日 建設省告示第1439号（改正 H28年4月25日国土交通省告示707号）の解釈を参考としました。

具体的には告示1439号第2.2号ただし書きにある「木材等の厚さが25mm以上である場合においては、この限りでない」の解釈を参考としCLT現しにできました。

〈内装制限される天井リブの現し〉

天井リブについては建築物の防火避難規定の解説2016に記載されている「内装制限における柱・はり等の取扱い」、質疑回答82の解釈を参考としました。

具体的には天井見付面積の1/10にあたる面積が現し可能となり、リブが天井面から20mmの現しが可能になりました。





CLT壁をガラスパネルで覆った2階昇降路



CLTパネルを現した軒天

POINT

防煙区画

木造の防煙区画は「不燃材で覆う」という解釈があり、木軸を床から天井まで不燃材料で覆うことが一般的です。

昇降路

施行令 129 条の 7 エレベーターの昇降路の構造について、「構造上軽微な部分を除き、昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、難燃材料で造り、又は覆う」必要があります。

外壁

22条区域の外壁は延焼の恐れのある部分に掛かると、23条の防火構造にする必要があります。

軒天

準耐火構造や防火構造では軒天を不燃材料で作る必要があります。

〈防煙区画の対応〉

『防火避難規定の解説 2005 (第6版)』『アフターフォロー 質問・回答12の解釈』を参考とし、防煙区画壁の一部をCLT壁現しとしました。この解釈を使った部屋は1階では待機室1と待機室2の間仕切り壁、待機室3と待機室4の間仕切り壁。2階では社長と応接コーナーの間仕切り壁。3階では施工計画室と休憩室の間仕切り壁です。

〈昇降路の対応〉

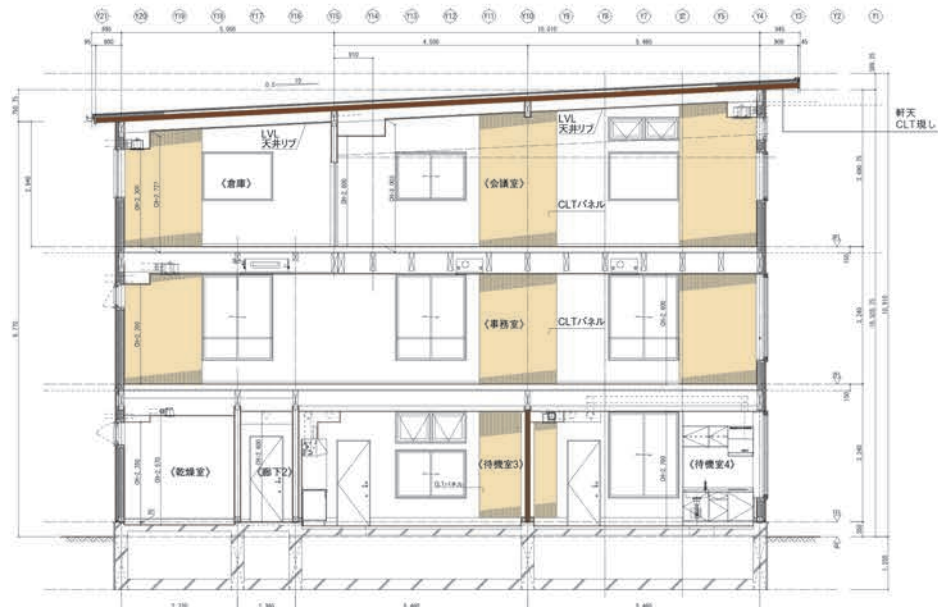
この建物は縦穴区画が不要でしたが、昇降路の構造規定を満たす必要がありました。2階の昇降路にあるCLT壁のホール側をガラスパネルで覆い、昇降路内部に石膏ボードを張ることでCLT壁の現しが可能になりました。

〈23条の外壁対応〉

延焼の恐れのある部分に掛かる外壁は、日本CLT協会の取得している外壁防火構造(大臣認定仕様)を利用してCLT壁現しとしました。

〈軒天の対応〉

この建物は準耐火構造や防火構造では「その他」になるため、屋根をCLTでつくり、軒天をCLT現しとすることが可能でした。



接合金物

設計時にCLTパネルの接合金物について検討し、工場でプレカットして取り付けました。

POINT

接合金物

CLTの接合金物は引きボルト接合か、日本住宅・木材技術センターが定めるクロスマーク金物を利用する方法が公に提示されています。
必要に応じて独自金物を開発する場合があります。



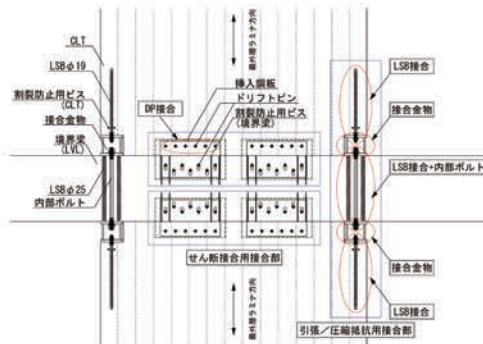
新たに開発した引張接合金物



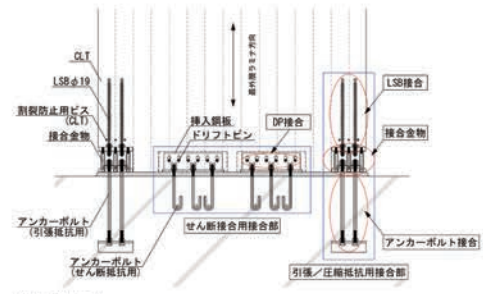
四隅に引張接合金物を設けたCLTパネル

〈接合金物を開発〉

今回、壁厚120mmの高耐力接合金物が必要となったため、CLT接合金物を開発、実験で性能を明らかにしました。
CLT壁接合部のうち、壁四隅に設ける引張接合金物については、LSB接合(ストローグ製)により、CLT壁側にすべて工場取り付けしうえて現場搬入しました。
せん断接合金物は輸送効率を考え、すべて現場で取り付けましたが、施工性からすると工場取り付けも考えられます。



境界梁接合部



壁脚部接合部



CLT柱脚せん断金物

確認申請

CLT建築を扱ったことがある確認検査機関を調べ、事前相談も行います。

POINT

事前準備

現在、CLT建築を扱ったことがある確認検査機関は少ないので、計画段階から調べておきます。

主な確認検査機関

ビューローベリタスジャパン株式会社
一般財団法人日本建築センター
一般財団法人日本建築総合試験所
日本 ERI 株式会社

〈確認検査機関〉

今回、ビューローベリタスジャパン株式に確認申請図書を提出しました。

〈確認申請までの流れ〉

確認申請の前に設計意図を確認するために確認検査機関と数回、事前相談(対面やメール)を行い申請の準備を行いました。

※本物件におけるこだわった部分

建物中央にCLT螺旋階段を設置



1階

建築主がコンクリート関連の業務も行っていることから、建物中央にコンクリートとCLTと鉄を組み合わせた螺旋階段を設置しました。CLT踏み板の形状は8種類とし、加工の効率化を図りました。

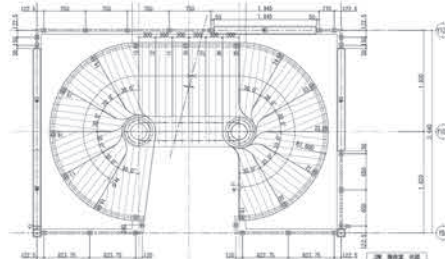
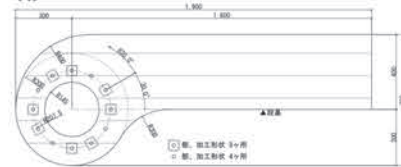


3階



CLT階段
施工図

<CLT タイプB> 2枚
t=90



製造 加工 運搬

CLTパネルの効率的なサイズ、特注による製造期間および搬入・搬出経路を検討します。

POINT

加工場での課題、注意点

CLTパネルは基本的に特注品。JAS工場は多くないため、その点も考慮する必要があります。

加工

CLTのマザーボードサイズ、建築部材サイズに対応した加工機を有する工場の選定とスケジュール確保が重要です。

検討事項

CLTパネルの大きさ、重さを把握します。加工したCLTパネルの現場搬入時のトラック荷姿を決めます。建て手順に則り、効率のよいパネル仮置き計画を立てます。

〈材料調達〉

今回、CLTパネルは銘建工業および鳥取CLTで製造しました。受注生産規格のCLTは製造に期間を要するので、発注の2～3カ月前から事前協議を重ねて調達を進めます。

〈加工〉

オノツカと協業し、CLTパネルは板加工に優れたNC加工機（フンデガー PBA）、軸材の木質材料は直通材加工に優れたNC加工機（フンデガー K2i）で加工しました。合板・甲乙梁の加工は群馬木芸と協業し、柱やCLT壁との干渉を避ける欠き込みを設けました。

躯体への設備孔の現場加工を省力化するため、各専門会社と連携して事前に電気・空調設備導線の位置を決め、木質材料のブレカットにて設備孔を加工します。

〈運搬〉

建て方の順序を考え、加工会社には施工手順とは逆の順序でトラックに積むよう手配します。



CLTパネル製造



CLTパネル加工



CLTパネル加工仕上げ作業



CLTパネル運搬

基礎配筋 アンカー

CLTパネル工法では、アンカーボルトの位置精度の確保が重要です。

POINT

検討事項

今回のCLTパネルの最大は屋根パネルで1.2t、サイズ120mm×1,830mm×8,582mm。

アンカーボルトの位置が、ずれないようにするための治具(テンプレート)等が必要です。

注意事項

アンカー精度、基礎天端レベルの調整をせずに建て方を開始すると、CLT壁パネルを敷設する際に、その都度、修正を要したり、建て入れ精度が確保できず、躯体のばらしなどの手戻りが頻発する恐れがあります。

〈基礎配筋時のアンカー位置出し〉

CLT壁パネルは1枚のパネルに最大14本のアンカーボルトが配置され、かつ引張接合とせん断接合のアンカーボルトの長さが異なります。

パネル建込時のアンカーボルトの芯ずれを最小限に抑えるために、壁パネルごとに一体化したアンカーテンプレートを用意しました。

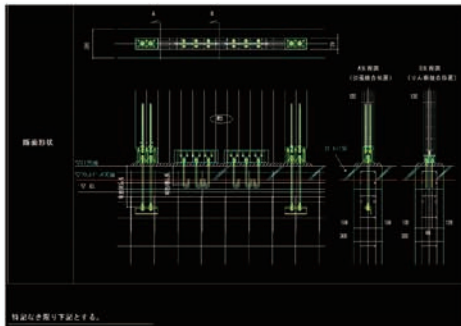
建て方前にアンカーボルトの左右許容差、高さ許容差を確認し、アンカーボルト位置が許容差内に納まることを確認してから、建て方を開始しました。

〈工期〉

基礎3カ月

アンカー精度、基礎不陸精度確認・調整 10日間 約50人工

CLT壁パネル敷設 1枚あたり5~10分



アンカーボルト納まり図



アンカーボルト位置の測定



鋼材のフラットバー FB-6×125にアンカーボルトの孔を開けたアンカーテンプレートをCLT壁パネルごとに設置し、アンカーボルトの相対位置の精度を高めた



建て方

建て入れ精度の確認・調整は各階ごとに行います。

POINT

建て方の手順

今回の工事では金物類のほとんどを工場で取り付けたため、地組を行いませんでしたが、一般のCLTパネル工法は建て方手順としてパネル搬入→部材仮置き→地組架台設置→CLTパネルを地組架台に設置→地組(金物類取付け)→CLT壁パネル敷設の手順で進みます。

注意事項

CLTパネルは材料搬入・仮置き場の部材荷振り(現場調整)・CLT部材敷設のすべてにおいてクレーンが必要となります。木造軸組や鉄骨のように、仮組をして複数階をまとめて調整することが容易ではありません。複数階の建て入れを無理に力を掛けてまとめて調整すれば、調整したい層以外の層の建て入れが狂う恐れがあります。

〈クレーン〉

躯体の建て方と階段の敷設でラフタークレーンを同時に2台動かしたので、クレーン同士の作業が干渉しないように建て方計画に留意しました。

性能根拠が明らかなCLT吊り治具は、当時、選択肢が少なかったため、銘建工業仕様の吊り治具を利用しました。

〈建て入れ精度〉

建て入れ精度の確認・調整は各階で行います。CLT壁(柱)パネルが各階ごとに分割したスラブ勝ちの工法であり、壁パネルの枚数、接合箇所が多く、仮組段階で建て入れはほぼ決まります。

〈取り付け〉

足場の壁つなぎは軸組工法で利用されるラグスクリュータイプを集成材・LVLの梁に緊結しました。

CLT金物は可能な限り工場取り付けとし、現場取り付け工数の縮減を図りました。



CLTパネル揚重



CLTパネル躯体工事 躯体内部



CLTパネル躯体工事 CLT壁パネル脚部



CLTパネル躯体工事 躯体外観

設備工事

工事段階で手戻りなどのないように、設備スペースにも考慮して設計します。



設備図

POINT

設備配管・設備配線

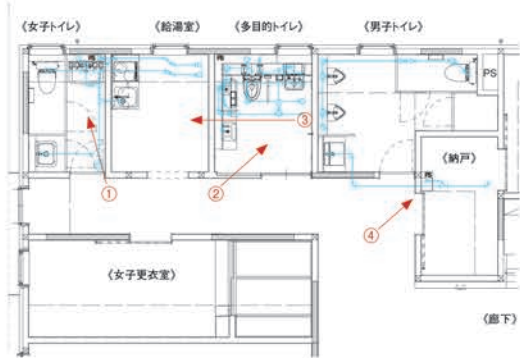
CLT壁から設備配管・設備配線が見えないようにするには、設計段階から構造を含めた検討が必要です。
CLTパネルの加工（プレカット）前に、設備ルートを確定します。
工場の機械加工でCLTパネルに設備用の孔加工を施し、現場加工を縮減させます。

設備工事

電気設備工事、衛生設備工事、空調設備工事などの各工程を理解し、施工上の留意点を共有化することにより、施工・工程管理・検査等を確実に合理的に行うことができ、それが品質の確保につながります。

〈設備スペース、経路を把握〉

今回のCLTパネルは厚いもので120mmです。現場加工をするなど手戻りのないように設計します。
設計段階で設備に必要なスペース、配管経路を把握し、パイプスペースや、ふかし壁を有効に使います。



① 2階女子トイレ



② 2階多目的トイレ・男子トイレ



③ 2階女子トイレ・給湯室・多目的トイレ



④ 2階納戸

竣工

CTLパネル工法により木に包まれた大きな空間のあるオフィスビルとなり、従業員の業務効率がアップ。建て替え前のオフィスよりも冷暖房効果がよく、冷暖房費も2分の1に。



2階応接コーナー



3階会議室



外観



CLT階段

POINT

設計・構造

CLT壁と集成材の梁を使用することで耐力壁を少なくし、広い空間を実現できました。

内装制限や防煙区画については告示、防火避難規定等の緩和措置を利用してCLT壁やLVL天井リブを現しにすることができました。

間仕切り壁では内装制限の規定と防煙区画の規定をそれぞれ満たさないと現しにすることができないので、注意が必要です。

延焼の恐れのある部分に掛かる外壁については日本CLT協会が取得している防火認定を使い、部屋内側をCLT現しにすることができました。

今後、CLT材が不燃認定を取得したり、燃えしろ設計で基準法の規定を満たすことが可能になれば、構造材に加え化粧材としての利用が促進されると思います。

コスト

上部構造のみでCLT造とRC造を比較すると、RC造にコストメリットがあります。

今回の工事では、下部構造・地業を合わせたコストで比較するとCLT造が低コストでした。今回、地盤状況が良くないため、RC造では杭を採用する必要があるためコスト高になります。

	CLT造	RC造
上部構造	74,000千円	49,799千円
地業・下部構造	39,666千円	64,420千円
小計	113,666千円	114,219千円
	基準	+553千円

● CLTを知るのに役立つ書籍・資料

■販売書籍（有料）



CLT パネル工法 設計入門
日本 CLT 協会



CLT パネル工法
低層建築物施工マニュアル
日本 CLT 協会



CLT パネル工法
中高層・大規模建築物施工ハンドブック
日本 CLT 協会



実務者のための
CLT 建築物設計の手引き
日本 CLT 協会



CLT を用いた建築物の
設計施工マニュアル
日本住宅・木材技術センター



CLT 関連告示等解説書
日本住宅・木材技術センター



■パンフレット・マニュアル・ガイドブック（無料ダウンロード）



CLT 建築物の設計ガイドブック
愛知県 CLT 普及協議会



設計者のための
CLT 屋外使用ガイドライン
日本 CLT 協会



木質構造設計・技術
マニュアル
ジャパン建材



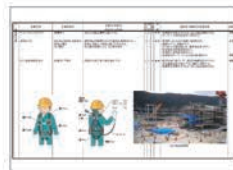
■資料（日本 CLT 協会 ホームページ「資料」からダウンロードできます）



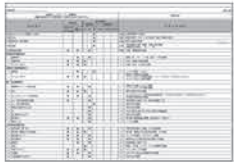
アンカープレート及び
アンカーフレーム設置要領
日本 CLT 協会



CLT パネル工事施工計画書
日本 CLT 協会



CLT パネル建方作業手順書
日本 CLT 協会



CLT 工事管理チェックシート
日本 CLT 協会



CLT パネル工法建築物
工事写真チェックシート
日本 CLT 協会

相談・問い合わせ先	<p>内閣官房 CLT 活用促進のための 政府一元窓口(行政窓口、補助事業等) CLTの活用に関する事業者や地方公共団体等 からの問い合わせに答えるため、内閣官房に政府の「一元窓口」が設けられています。 ホームページ: cas.go.jp/jp/seisaku/cltmadoguchi 電話番号:03-3581-7027</p>	
	<p>一般社団法人 日本CLT協会 2012年に設立され、日本でのCLTの普及のための 取り組みや、技術開発を行っている団体です。 ホームページ:https://clta.jp 電話番号:03-5825-4774</p>	
	<p>公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 1977年に設立された、木造建築についての調査・研究、 情報提供などを行っている団体であり、CLTについても設計・ 施工マニュアルの発行や実証事業の実施などを行っています。 ホームページ:howtec.or.jp 電話番号:03-5653-7662</p>	
CLT 資料関連	告示関連資料、設計資料、事例集等のリストを 日本 CLT 協会のホームページに掲載	
CLT 製造企業リスト	日本 CLT 協会会員 JAS 認定工場 8 社 (2022年7月時点)	
CLT 加工企業リスト	日本 CLT 協会会員 CLT 加工企業 20 社 (2022年7月時点)	
助成・支援制度	<p>公的助成制度 詳細は上記の内閣官房および日本 CLT 協会の ホームページに掲載</p> <p>設計支援制度 企画段階、設計段階での専門家・経験者のアド バイザー派遣制度(無料)を実施。詳細は日本 CLT 協会のホームページに掲載</p>	
過去のコンテスト、 コンペ事例	2015年からコンテストやコンペを日本 CLT 協会 で実施 詳細は日本 CLT 協会のホームページに掲載	

実例 CLT オフィス建築 はじめての CLT パネル工法

発行日:2024年2月

発行:一般社団法人日本CLT協会

協力:株式会社三栄工業所(金一磨、荒川航太郎)

松本設計ホールディングス株式会社(松本照夫、阿部大輔、柳町篤)

ジャパン建材株式会社(吉川正勝、内野吉信、坪井浩一、宮田裕章、並木博一)

編集制作:建報社、南風舎



もり・まち・ひとの交差点
シー・エル・ティ
Cross Laminated Timber

一般社団法人 日本 CLT 協会

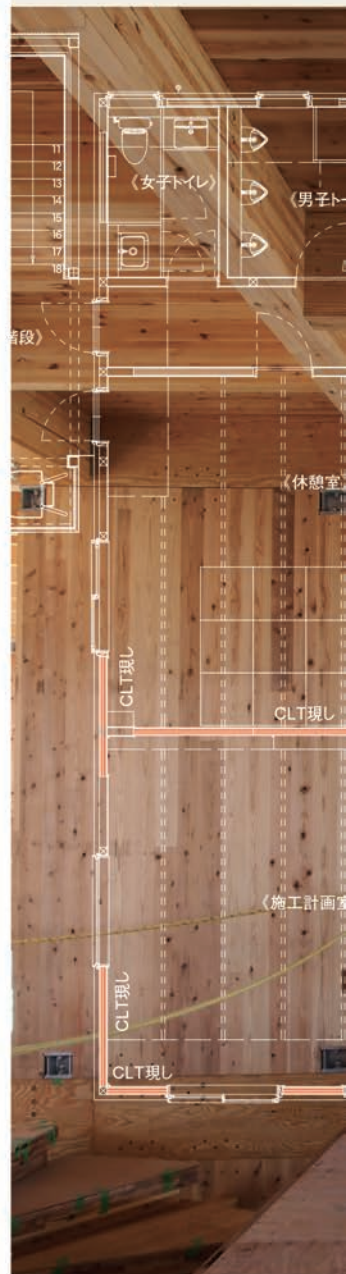
〒103-0004

東京都中央区東日本橋2-15-5

VORT 東日本橋 2F

TEL:03-5825-4774 FAX:03-5825-4775

※本誌の文章・写真・図版等の無断複製・転載を禁じます。



(裏表紙)

■ 送付用のあいさつ状

「実例 CLTオフィス建築」ご送付のご案内

拝啓 早春の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
さて、弊会発行の小誌「実例 CLTオフィス建築」が完成いたしましたので謹呈させていただきます。

CLT建築物で一番多く建てられているオフィス建築をフォーカスしました。発注者ヒアリングから設計契約・着工・竣工にいたる中での重要なポイントや、参考にした書籍・構造事務所・確認審査機関・生産工場・施工店等の打合せ内容や留意点(注意すべき点)等を実例で紹介した、わかりやすいハウツー本となっております。

ぜひご高覧いただき、今後の設計業務やプレゼンテーション等のご参考にしていただければ幸いです。詳細な情報は当協会ホームページ「スライドバナー」またはWEBサイト「CLTから見える未来」にも掲載しておりますので、合わせてご覧ください。

なお、当協会では皆様からのお問い合わせに丁寧にご対応しております。ご質問等ございましたら、ご遠慮なくご連絡くださいますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

送付内容
「実例 オフィス建築」1部
【参考】WEBサイト「CLTから見える未来」 URL:<https://clt-network.jp/>

令和6年2月

一般社団法人 日本CLT協会
東京都中央区東日本橋2-15-5 VORT東日本橋 2階
Tel: 03-5825-4774 Fax: 03-5825-4775
担当窓口: 小玉
メールによるお問い合わせ先 info@clta.jp



 **もがまき・ひとの交差点**
シー・エル・ティエ
Cross Laminated Timber

第2章 事業内容

2-2. コンテンツ紹介

WEBサイト「CLTから見える未来」リニューアル

[日程] 企画、構成：6月～11月

原稿作成～デザイン制作：8月～11月

リニューアル公開：12月1日

[概要] より注目度を高め、閲覧したくなることを目的に、『事例 CLT オフィス建築』を新規制作し、無料プレゼントをはじめ、過去30,000アクセスの既存の人気コンテンツ動画やインタビュー等もランキング表とした。同時に、今年度より全国のCLT建築の利用例を紹介する「利用例集」として、内閣官房CLT活用推進のための政府一元窓口のご協力により、全国996件におよぶ「CLTを活用した建築物一覧」を追加（市町村レベルで検索可）した。

[対象] 設計者、建設業者などの建築関係者をはじめ、幅広い層を対象とする。

WEBサイト「CLTから見える未来」部分リニューアル

トップページにて、『実例CLTオフィス建築』のプレゼントを実施した。

トップページ



最初のイメージを動画に変更し、インパクトを高めるとともに親しみやすくした。

閲覧者は最初に業種を選択し、専用のページに誘導する。

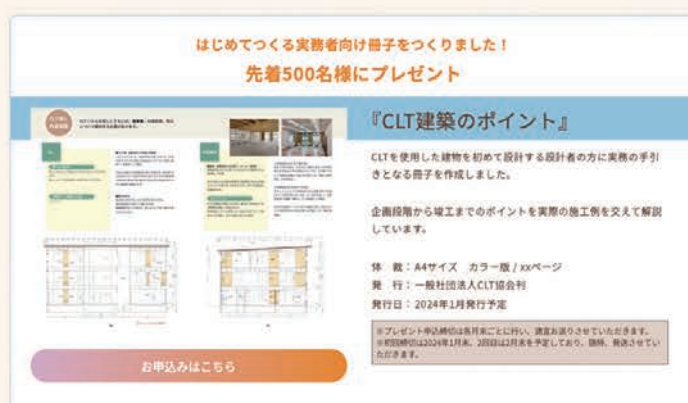


専用ページの例は本誌P14以降に掲載。



ここをクリック
【意匠設計・デザイン事務所】専用ページへ

先着500名様に『実例 CLTオフィス建築』プレゼントを実施。



実例 CLTオフィス建築

はじめてのCLTパネル工法



アンケート回答者にプレゼント 『実例 CLTオフィス建築』

一般的なCLTオフィスの実例を紹介したハウツー本。
詳細は本誌P03以降に掲載。

アンケートページ

CLT から見える未来
CLTの普及と未来について知ることが出来ます。

プレゼント&アンケート questionnaire

プレゼント：作品集送付先

お名前 必須

会社名/所属団体 必須

郵便番号 必須

送付先ご住所 必須

連絡先電話番号 必須

連絡先メール 必須

当WEBサイトをご覧いただきました皆様を対象に、サイト改善のためのアンケートをお願いしています。 任意
回答へご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 業種を下記より選択ください。

設計事務所 (建築設計・デザイン) 設計事務所 (構造設計) マンション・不動産オーナー
 団体・企業オーナー 官公庁 自治体 団体 ゼネコン・サブコン 建設会社・工務店
 住宅メーカー 設備・資材メーカー 不動産会社・デベロッパー 流通・商社 その他建設関連

2. 性別

男性 女性 答えたくない

3. 当サイト内でお観しの内容はありましたか？

必要な情報が掲載されていた あったが情報が不足していた なかった

4. 上記設問で「なかった」と答えられた方はどのような情報が欲しいですか？知りたい情報があれば教えてください。

5. このサイトはどこでお知りになりましたか？

検索サイト CLT協会HP 建築関連雑誌 CLT協会SNS 協会メルマガ 協会セミナー
 知人より その他

6. ご質問・お問合せ・ご感想・ご意見 (500文字以内)

個人情報取り扱い 必須

当フォームで収集する個人情報は、プライバシーの保護を遵守しております。
ご入力された個人情報は、お問合せに対応するためにのみ利用し、その他の目的には利用しません。
個人情報取り扱いに同意頂ける場合は、下記の「個人情報取り扱いに同意する」にチェックを入れてください。

個人情報の取扱に同意する

送信内容確認

アンケートの結果報告は
本誌P12に掲載。

2-3. 冊子プレゼントアンケート分析報告

『実例 CLTオフィス建築』

冊子プレゼント（アンケート）分析結果

応募件数 153件（アンケート回収件数 153件）

●業種は

意匠設計事務所	97件	(63%)
ゼネコン・サブコン	17件	(11%)
建設会社・工務店	15件	(10%)
不動産・デベロッパー	5件	(3%)
住宅メーカー	4件	(2.6%)
構造設計	7件	(3%)
流通・商社	2件	(1%)
その他建設会社	2件	(1%)
自治体・団体、官公庁		
マンション・不動産オーナー	各4件	(各0.6%)

●性別

男	139件	(91%)
女	14件	(9%)

●当サイトでお探しのコンテンツはありましたか？

- ・必要な情報が網羅されていた…………… 140件 (91.5%)
- ・あったが情報が不足していた…………… 13件 (8.5%)
- ・なかった …………… 0件

●このサイトはどこでお知りになりましたか。

- ・CLT協会ホームページ…………… 36件 (23.5%)
- ・メルマガ…………… 51件 (33.3%)
- ・その他(口コミ等)…………… 48件 (31.4%)
- ・検索サイト…………… 13件 (8.5%)
- ・建築関連雑誌…………… 4件 (2.6%)
- ・協会セミナー …………… 1件 (0.7%)

●感想・ご意見

- ・CLTをさらに活用した建築物への取り組みを強化していきたい。法規的な壁は高いがノウハウ・知識を向上させて対応可能な社会へと成長していきたい。(建設会社・工務店)
- ・CLT関連書籍を申込いたします。(設計事務所)
- ・令和6年1月1日の北陸能登での地震や、過去の阪神淡路の震災など、建設業を取り巻く環境は安全や安心を提供できる本来当たり前はずなのですが、時として想定外の事が起こったり、備えを怠っていたがために被害が大きくなる事態が発生します。誠実な施工に心掛けていても、時に材料や資材の関係で倒壊や半壊、座屈の被害にあわれる建築物もあるとすれば、材料の勉強や研究、施工方法も大事で必要だと感じています。CLTに関してはまだまだ勉強中で、これからもよろしくお願い致します。(建設会社・工務店)

① 意匠設計・デザイン事務所

CLTから見える未来
CLTの活用と未来について知ることができます。

設計者の方
意匠設計・デザイン事務所

アクセスの多いコンテンツはこちら ※各記事のアクセス件数順による。

- 1 CLT関連書籍
【中・大規模/新築/改修/既存ビル改修】
ARCHITECT'S HANDBOOK
—MORE—
- 2 中大規模木造建築
データベース集
—MORE—
- 3 CLTデザインノート2019
CLTで建築をデザインしたい建築者の
ためのデザインブック
—MORE—
- 4 「CLTパネル工法建築物
の建て方」編 / 2021
CLTパネル
工法建築物
の建て方
—MORE—
- 5 2019年最新
CLT関連表示特許解説
(特許)
—MORE—

冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

利用例集
建築

利用例集
建築以外

CLTサミット
2019年 東京

CLTで
未来に備える

トピックス

CLTで未来に備える
世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

CLT先進事例

スマートシティAICT
スマートシティの実現に向けて、プロジェクトの企画段階から参画した子ナント企業の後押しもあって木造資材の使用や地元林業の再生、RC100対応を前提に建設。今後全国で求められるデジタル田舎都市構想のモデルとなるプロジェクトです。
【物件概要】
所在地：岐阜県岐阜市
■用途：オフィスビル/複合施設/娯楽施設
■建築費：オフィス棟 4,670万
■建物用途：オフィス棟・地上2階（一部4階）●構造：オフィス棟・5階 ●造作木材使用量：オフィス棟・約100㎡(内外装材)●建築費：岐阜市役所 株式会社 AIGMO ●設計：株式会社日野設計 ●施工：戸部・倉本工務・八井務・アークス企業 株式会社建築士 2019年3月

インターナショナルハウス・シドニー
シドニーの再開発エリアでの大規模再開発で、サステナビリティ戦略の一環として木造を採用。短い工期で快適な鉄骨工を実現するなど、再開発エリアのシンボリックな存在となり金銭的でも大プロジェクトの誘致にも成功しました。
【物件概要】
所在地：オーストラリアシドニー ●用途：オフィスビル、店舗 ●建築費：7,330万 ●建物用途：地上27階 ●構造：1階・RC造、2-7階・木質造（構造用CLT） CLT使用部材：1階、11階 ●設計：ZJANNE ●施工：2017年

CLT先進事例

国内最大・最高層となる木造賃貸オフィスを計画
三井不動産と竹中工務店は、東京・日本橋に地上17階・高さ約70m、延床面積で約26,000㎡となる木造賃貸オフィス計画の検討に着手したことを発表しました。これは現存する木造高層建築物としては国内で最大・最高層となるもので、構造材に使用する木材も国内最大規模の1,000㎡超となる見込み。予定では2023年に着工し、2年後の2025年に竣工予定です。木材には三井不動産が北海道に所有している森林から活用し、森林資源と地域経済の好循環を図っていくとしています。また、竹中工務店が開発を進めてきたCLTなど木材の耐火技術や耐震技術を導入。これらにより耐震等級の3階オフィスを比べて、建築時のCO₂排出量を約20%削減すると見込まれています。
※計画条件
【物件概要】
所在地：東京都中央区新富町、東横町・区橋・新富町 ●延床面積：約26,000㎡ ●建物用途：地上17階 ●設計 ●構造：ハイブリッド木造構造 ●木材使用量：約1,000㎡ ●建築費：三井不動産株式会社 ●設計：施工予定者：株式会社竹中工務店 ●竣工：2025年予定 ●写真

海外の動向

スウェーデンの木材による街づくり
スウェーデンの南部にあるヴェックショー市は森林が豊かな地域であり、資源の有効活用は市の環境戦略としても重要な位置を占めています。ヴェックショー市では1993年からCO₂の削減に取り組み始め、2015年には取り組み開始時と比べて33%削減を達成。2023年からは公共建築として木質構造の建築物を推進し、今では民間の集合住宅にもCLT活用が広がっています。同市の取り組みが木質構造の建築物の動きを牽引することで、2021年のスウェーデン全体の新築集合住宅戸数の木質化率は約20%まで上がっています。また、プレハブ化を促進することで新たな雇用の創出にもつながっており、官民全体で環境配慮した街づくりに取り組む事例として注目を集めています。
CLT先進事例CLTデザインノート2019
CLT活用のヒント

CLT活用のヒント

上層部使用タイプ
●耐火時間の短い建物上層部を木質化するタイプ。耐火性能による工事費アップを抑えつつ、建物重量を軽減。また、プレハブ化によるローコスト化、工期短縮も可能です。

床のみ使用タイプ
●大判材としての特徴を活かし、床にCLTを使用するタイプ。延床面積あたりの木質材料使用量を踏みやすく、施工性にも優れています。工法やパネル割りの工夫により工期や工事費も抑制できます。

仕上使用タイプ
●仕上材としてCLTを使用するタイプ。内装制限のない部分であれば親し仕上が可能であり、木特有の温かみや美しい木肌を活かします。また、外観へ使用することで面のシンボルに、企業のイメージアップにもつながります。

準耐火・現しタイプ
●別棟として、準耐火建築物、内装制限のない範囲で建築物を計画し、CLTパネル工法等を採用。小規模で計画することで、構造的にも、デザイン的にも個性的で大胆な案を採用することができます。

技術セミナー動画

各イメージのクリックで動画をご覧いただけます。

<p>【アーカイブ配信】 第1回オンラインセミナー 「CLTとは？ その利便実例と実態に迫る」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第1回セミナー 「CLTはア ダムの利用実例に 実態に迫る」</p> <p>アーカイブ配信</p>	<p>【アーカイブ配信】 第2回オンラインセミナー 「CLTの製造工程」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第2回セミナー 「CLTの 製造工程」</p> <p>アーカイブ配信</p>	<p>【アーカイブ配信】 第3回オンラインセミナー 「CLTでツクルモノ・ツクれないモノ」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第3回セミナー 「CLTで ツクルモノ・ ツクれないモノ」</p> <p>アーカイブ配信</p>
<p>【アーカイブ配信】 第4回オンラインセミナー 「CLTを使ったファサード設計の考え方」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第4回セミナー 「CLTを 使ったファサ ード設計の考 え方」</p> <p>アーカイブ配信</p>	<p>【アーカイブ配信】 第5回オンラインセミナー 「CLTの構造の考え方」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第5回セミナー 「CLTの 構造の考え方」</p> <p>アーカイブ配信</p>	<p>【アーカイブ配信】 第7回オンラインセミナー 「長に作るCLTの耐久性」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第7回セミナー 「長に作 るCLTの耐久 性」</p> <p>アーカイブ配信</p>
<p>【アーカイブ配信】 第8回オンラインセミナー 「組立現場でのCLT事例」 / 2021</p> <p>【セミナー】 CLTへの取り組み 第8回セミナー 「組立現場 でのCLT事例」</p> <p>アーカイブ配信</p>		

関連動画

各イメージのクリックで動画をご覧いただけます。

<p>「石橋浩氏が語るCLT 2016年」</p> <p>CoCo Laminated Timber</p>	<p>「建築家が語るCLTの魅力」 デベロッパー講習会動画 有限会社E・P・A環境技術社建築研究所 2016年9月17日収録</p>	<p>「CLTのけんちくー性動画ー 2019年」</p> <p>CLTのけんちくー性動画</p>
<p>「木の職のぼうけん」 木の職のぼうけん</p>	<p>「CLTパネル工法建築物の建て方」編 / 2021</p> <p>CLTパネル工法建築物の建て方</p>	<p>【施工動画】 CoCo CLT 建て方動画 つづく「CoCo CLT」実態編 / 2016</p>
<p>「CLTができるまで」 / 2019</p> <p>CLTができるまで</p>		








パンフレット

各画像イメージのクリックでPDFをダウンロードいただけます。








<p>CLTデザインノート2019 設計の徹底解説、ポイントを紹介</p> <p>CLTデザインノート</p>	<p>はじめのCLT建築 CLTが新しい日本の建築を創る</p> <p>はじめのCLT建築</p>	<p>CLTを知るコンセプトブック2019 CLTが誰の手に渡り得る価値を伝える</p> <p>CLTを知るコンセプトブック</p>	<p>ARE YOU READY? CLTで未来に備えるパンフレット</p> <p>ARE YOU READY?</p>
---	---	--	--

CLT関連書籍 無料ダウンロード

各書籍イメージをクリックでPDFをダウンロードいただけます。

<p>中・大規模・都市 木造建築技術設計 建築ルーフィング2020</p> 	<p>CLT建築物ディテール集 CLT建築情報協議会 2021</p> 	<p>CLT暮らし世界のQ&A 日本CLT協会 2021</p> 	<p>木の学校づくり 学校施設等のCLT活用事例 文部科学省 2020</p> 
<p>CLT建築物の 設計ガイドブック 建築系CLT普及協議会 2019</p> 	<p>時間をつかめ！ 企業価値を高める木造建築 ウッドソリューション・ ネットワーク 2019</p> 	<p>ここまでできる木造建築 のすすめ 木造法がイノベーション協議会 2021</p> 	

販売書籍

<p>CLT/木造工法 設計入門 日本CLT協会 2021</p> 	<p>2019年版 実務者のためのCLT 建築設計の学び方 (第2版) 日本CLT協会 2019</p> 	<p>2016年版 CLTを用いた建築物の 設計施工マニュアル (増補版)</p> 	<p>2016年改訂・発行 CLT実務者や専業設計者 向け 日本CLT協会 2016</p> 
<p>CLT/木造工法 低層建築物施工マニュアル 日本CLT協会 2021</p> 	<p>CLT/木造工法 中規模・大規模建築物 施工ハンドブック 日本CLT協会 2021</p> 	<p>ディテールの教科書 中大規模木造建築 日経アーキテクチュア2020</p> 	

一部、日本CLT協会ウェブサイトでも販売しています。

[書籍販売はこちら](#)

CLT相談室

<p style="font-size: x-small; color: #2e8b57;">設計のお悩みの主様や設計者様のご相談に対応しています。 専門家の派遣も可能です。</p> <p style="color: #2e8b57; font-weight: bold;">CLT企画・設計相談室</p>	<p style="font-size: x-small; color: #2e8b57;">全般的なお問合せはこちら 対象：どなたでも</p> <p style="color: #2e8b57; font-weight: bold;">CLTなんでも窓口</p>
<p style="font-size: x-small; color: #2e8b57;">構造のお問合せはこちら 対象：設計者様</p> <p style="color: #2e8b57; font-weight: bold;">CLT構造相談室</p>	<p style="font-size: x-small; color: #2e8b57;">会員企業の連絡先が知りたい場合はこちら 対象：CLTの相談が可能な企業をお探しの方</p> <p style="color: #2e8b57; font-weight: bold;">CLT相談先企業</p>

② 構造設計事務所

CLTから見える未来
CLTの活用と未来について知る事ができます。

設計者の方

構造設計事務所

アクセスの多いコンテンツはこちら

1

2019年度建築学会の中心
CLT建築物設計の手引き
（建築）

2

2019年度CLTを用いた建築物の
設計施工マニュアル
（建築）

3

CLT関連書籍
（※ 大規模/都市再生推進センター発行）

4

ディテールの教科書
の大規模木造篇
（建築）

利用例集
建築

利用例集
建築以外

CLTサミット

CLTで
未来に備える

トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を減らせることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

平28国交省第611号による設計
定義：水平力と鉛直力を受ける耐力壁にCLTを用いた構造

架構形式


小編パネル架構
CLT発層様


小編パネル架構
CLT勾配層様


大版パネル架構
在来置き層様


大版パネル架構
在来床・層様

<鉛直構造>

- 小編パネル架構・・・無開口のCLTを組み合わせる
- 大版パネル架構・・・開口を有するCLTを組み合わせる

<水平構造>

原則として矩形のCLTパネルで構成する。

「CLTを用いた建築物の設計施工マニュアル」より引用

構造計算ルート別の適用範囲
(ルート1は仕様規定との併用であり、一般の許容応力度計算とは異なる。)

適用範囲	ルート1	ルート2	ルート3
最高高さ	13m以下	31m以下	31mを超え60m以下
軒高	9m以下	—	—
階数	3以下	—	4以上
架構形式	小編パネル	—	—
	大版パネル①	—	—
接合金物	—	大版パネル②	—
	Xマーク金物	—	—
構造計算 令81条	応力に応じ設計	—	—
	荷重・外力計算	—	同定 +保有水平耐力
	断面分析	—	
	断面検定	—	
	偏心率	—	
	—	層間変形角	
—	脆性率		
—	応力解析	—	


小編パネル架構


大版パネル架構①


大版パネル架構②

一規定なし

冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。



33

③ ゼネコン・サブコン

冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

The screenshot shows a website interface for CLT. At the top, there's a navigation bar with '建設関連団体・企業・その他' and 'ゼネコン・サブコン'. Below this is a main content area titled 'アクセスの多いコンテンツはこちら' (Popular Content Here) which is divided into four rows of three cards each. Each card features a large number representing the number of accesses (e.g., 1, 3, 4, 8, 9) and a thumbnail image of a document or event. Below the grid is a 'トピックス' (Topics) section with a green header. It contains a sub-section 'CLTで未来に備える' (Preparing for the Future with CLT) with a paragraph of text and a '事業スケジュール' (Business Schedule) diagram. The diagram shows a timeline from '発注者' (Client) to '竣工' (Completion), with various milestones and roles like '設計・施工者' (Design/Construction) and 'サブライヤー' (Subcontractor) involved. The diagram also highlights 'CO2' emissions and '木材' (Wood) usage.

④ 建設会社・工務店

CLTから見える未来
CLTの現在と未来について知る事ができます。

建設関連団体・企業・その他
建設会社・工務店

アクセスの多いコンテンツはこちら ※今年4月現在のアクセス件数順による。

1 CLTで未来に備える

→MORE

2 全国のCLT建築を知る

→MORE

3 「CLT/パネル工法建築物の建て方」編 / 2021

→MORE

アクセスの多いコンテンツはこちら ※今年4月現在のアクセス件数順による。

3 はじめのCLT建築

→MORE

3 建築現場の隅々からCLTへでも窓口

→MORE

6 CLT/パネル工法設計入門

→MORE

アクセスの多いコンテンツはこちら ※今年4月現在のアクセス件数順による。

8 木の学校づくり

→MORE

8 CLT/パネル工法 中規模・大規模建築物 施工ハンドブック

→MORE

利用例集 建築

利用例集 建築以外

CLTサミット

CLTで未来に備える

トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内閣にCO₂を減え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

さまざまなニーズを満たすCLT

Cross Laminated Timber (JASでは直交集成板) はヨーロッパで発展した建材で、ひき板を並べた後、縦横方向が直交するように積層接着した木質系材料です。大量の木材を使用した厚みのある大きな板で、構造体としてだけでなく、断熱性、遮音性、遮熱性、透音性との複合的な効果が期待されています。の木材を使用した厚みのある大きな板で、構造体としてだけでなく、断熱性、遮音性、遮熱性、透音性との複合的な効果が期待されています。

- POINT 1** 国内の産業を活性化し、地方創世の一環を担う
- POINT 2** 人が都市で快適に生活することを可能にする
- POINT 3** 森林の健全な経営を可能にし、多様な生物相を守ることができる
- POINT 4** 環境に配慮した建物を建築し、CSRを明確にすることで、ESG投資の対象となる

日本では100%国産材を使用して生産されています。今後CLTの利用量が増加すれば、地方の木材産業が活発になり、地方創世の一環を担うこととなります。CLTではあらゆる仕様が可能となっており、木のぬくもりや香りを感ずることができ、自宅や職場でリラックスした環境を整えることが可能です。

↑
top

技術セミナー動画

各イメージの右下リボンで動画もご覧いただけます。

【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー 「CLTとは？その利用事例と特徴」 / 2021

【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー 「CLTの製造工程」 / 2021

【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー 「CLTでゼロエミッション・ツクレーナイモ」 / 2021

冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

⑤ 建設関連・その他



冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

⑥ 住宅メーカー

CLTから見える未来
CLTの現状と未来について知ることができます。



建設関連団体・企業・その他

住宅メーカー

利用例集
建築



利用例集
建築以外



CLTサミット



CLTで
未来に備える



トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

CLT活用のポイント

性能 軽くて丈夫なCLTの特徴を活かした
適材適所の活用が施設の魅力や性能をアップ

Q

これまでと同じ性能で発注できる？

木って燃えない？

木って腐るでしょ？

スパン飛ばさないでしょ？

遮音性に問題ないの？



A

大丈夫！ 技術的に対応は可能です

ひき板を縦横方向に直交するように積層構造したCLTは、もともと木自体が強い性質を持っています。さらに、比較的軽量である点を活かし、他工法と組み合わせる適材適所の活用で、建築の可能性を広げることが期待されます。

耐火性

熱を伝えにくく燃えるのもゆっくり

断熱性

コンクリートの10倍
数の400倍以上

耐久性

適切に処理して外装に仕舞した事例もあり

遮音性*

木質構造の建築では
高レベルの「LH-55」まで確保
*重量減衝撃オンの適負性能レベル

技術セミナー動画

各イメージのリンクで動画をご覧いただけます。

【アーカイブ配信】第1回オンラインセミナー「CLTとは？その利用事例と建築に迫る」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第1回トーク
「CLTとは？その利用事例と建築に迫る」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第2回オンラインセミナー「CLTの製造工程」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第2回トーク
「CLTの製造工程」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第3回オンラインセミナー「CLTでワクレモ・ワクレイモ」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第3回トーク
「CLTでワクレモ・ワクレイモ」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第4回オンラインセミナー「CLTを使ったワケ・設計の考え方」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第4回トーク
「CLTを使ったワケ・設計の考え方」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第5回オンラインセミナー「CLTの構造の考え方」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第5回トーク
「CLTの構造の考え方」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第6回オンラインセミナー「CLTで「風」によるCLTの耐久性」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第6回トーク
「CLTで「風」によるCLTの耐久性」

アーカイブ配信

【アーカイブ配信】第7回オンラインセミナー「相模湾口でのCLT事例」/2021

セミナー
CLTへの取り組み方 講師 木下 浩太郎

第7回トーク
「相模湾口でのCLT事例」

アーカイブ配信

関連動画

各イメージのリンクで動画をご覧いただけます。

「建築家が語るCLTの魅力」デベロッパー選定会動画
有限会社E-P-A建設推進協議会提供

⑦ 流通・商社



冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

⑧ 設備・資材メーカー

CLTから見える未来
CLTの真実と未来について知る事ができます。

建設関連団体・企業・その他
Enterprise

設備・資材メーカー

アクセスの多いコンテンツはこちら

1 CLTサミット

利用例業 建築

利用例業 建築以外

CLTサミット

CLTで未来に備える

トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

<p>床・壁・屋根など、 いろいろな使えるCLT</p> <p>こんなに効果が!</p>	<p>木質材料使用量 ※木質材料使用量 ※木質材料使用量</p> <p>0.2m³/m²</p> <p>単位面積あたりの木質材料使用量がこれだけ多いCLTは、</p>	<p>DBJ Green Building 認証</p> <p>木材使用で 加点点評価</p> <p>構造躯体であるかにかかわらず、木質使用量が0.05m³/m²以上を評価。</p>
<p>CO₂貯蓄量*</p> <p>121kg-CO₂/m²</p> <p>特別が「建築物」に利用した木材に由来する炭素貯蓄量の換算に換算する「カーボンストック」に由来した貯蓄量。</p>	<p>プロモーション 広告宣伝効果大</p> <p>環境対策が求められる時代に木やその利用への注目、関心が高まり、建築関係者への注目を集め、企業ブランド向上にもつなげます。</p>	<p>市場規模* (調査対象国)</p> <p>192万m²/年</p> <p>2019年世界のCLTは4~15億平方メートルで、高層商用住宅のすべての床にCLTが採用された場合の試算から。</p>
<p>市場規模* (調査対象国)</p> <p>192万m²/年</p> <p>2019年世界のCLTは4~15億平方メートルで、高層商用住宅のすべての床にCLTが採用された場合の試算から。</p>	<p>工期 変更なし</p> <p>既存のローコスト発注規格とほぼ同じ。</p>	<p>工事*</p> <p>+4~5万円/m²</p> <p>全体工事費の13~15%程度の増加が期待される。</p>

関連動画

長イメージのVR体験動画をご覧いただけます。

「石塚洋行が語るCLT 2016年」
石塚洋行C・D・A環境技術部建築研究所
武蔵野通信インタビュー2018

「CLTのけんもく〜性能編〜 2019年」
CLTのけんもく〜性能編〜
性能編

「木の橋のぼうけん」
木の橋のぼうけん

「CLTパズル 工法建築物の建て方」
CLTパズル 工法建築物の建て方

「施工動画」 CeCe CLT 建て方動画
つづは「CeCe CLT」高層棟 / 2016

「CLTができるまで」 / 2019
CLTができるまで

冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

⑨ 不動産会社・デベロッパー

CLTから見える未来
CLTの現在と未来について知ることが出来ます。
一般社団法人CLT協会
CLTの現在と未来について知ることが出来ます。

建設関連団体・企業・その他
Enterprise
不動産会社・デベロッパー

利用例業
建築



利用例業
建築以外



CLTサミット



CLTで
未来に備える



トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになっていきます。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

脱炭素に向けた動きが活発化する建設・不動産業界

建設・不動産業界では、個々の企業レベルでも脱炭素に向けた取り組みが進められています。一方で、屋号それぞれの分野でも、森林資源の価値や脱炭素の切り札として木材利用を進めていく環境が整えられつつあります。

建設・不動産業界の取り組み



「スコープ3まで対応するのに、木は有利だ」

企業としてグリーンな資産でなければ保てない状況になってきている。脱炭素社会に向けた行動計画をとりまとの、建設時のCO₂排出量を正確に把握する算出ツールの整備などを進めている。木はあくまでRC造やS造よりも製造するときのCO₂排出量が少ない。また、乾式で建てられているので建設時のCO₂排出量も少ない。モジュール化・プレハブ化することで再利用も期待できる。(不動産デベロッパーA社・担当役員)



サプライチェーン全体の温室効果ガス削減に向けたA社の取り組み

SBT達成に向けては自社で保有する不動産の物販運営だけでなく、建設時や解体時にあたるスコープ3までの温室効果ガス削減が必須。そこでA社は、サプライチェーン全体の削減に向け、独自の算出ツール作成などを進めています。

*SBT[Science Based Targets]: 2015年のパリ協定に基づき企業が設定する温室効果ガスの排出削減目標。

2022年度

CO₂排出量を正確に把握
「算出ツールの活用」による
排出量算出ツールの開発。

2023年度

サプライチェーンに
対して、算出ツールの活用

2022年度

CO₂排出量を正確に把握
「算出ツールの活用」による
排出量算出ツールの開発。

不動産業におけるサプライチェーン排出量のイメージ

Scope 3	Scope 1	Scope 2	Scope 3
<p>① 購入した製品のサービス</p> <p>② 廃棄物</p> <p>③ スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギーの燃焼</p>	<p>① 事業所からの燃焼</p> <p>② 事業所からの電力・蒸気の使用</p>	<p>① 事業所からの電力・蒸気の使用</p> <p>② 事業所からの電力・蒸気の使用</p>	<p>① 運送された製品の燃焼</p> <p>② 運送された製品の燃焼</p> <p>③ 運送された製品の燃焼</p>

＜ 建設の建設から運用、解体までを合わせたサプライチェーンの排出量削減が目標 ＞

技術セミナー動画

各イメージのリリック動画をご覧いただけます。

【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー
「CLTとは？その利用例と実態に迫る」/2021



【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー
「CLTの製造工程」/2021



【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー
「CLTでフレイルモノ・ツレモノ」/2021



【アーカイブ動画】第4回オンラインセミナー
「CLTを使ったワン・設計の考え方」/2021



【アーカイブ動画】第5回オンラインセミナー
「CLTの構造の考え方」/2021



【アーカイブ動画】第6回オンラインセミナー
「質になるCLTの耐久化」/2021



【アーカイブ動画】第7回オンラインセミナー
「相談窓口でのCLT事例」/2021



関連動画

各イメージのリリック動画をご覧いただけます。

「建築家が見るCLTの魅力」デベロッパー調査動画
有限会社・P・A環境建築基礎研究研究所

40

⑩ マンション・不動産オーナー

CLTから見える未来
CLTの普及と未来について知る事ができます。

新築・改築・リフォーム
CLTの活用
CLT活用事例
CLT活用事例

お施主の方・その他

マンション・不動産オーナー

利用例集
建築



利用例集
建築以外



CLTサミット
CLT活用事例発表会



CLTで未来に備える



トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を削減することができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

脱炭素に向けた動きが活発化する建設・不動産業界

建設・不動産業界では、個々の企業レベルでも脱炭素に向けた取り組みが進められています。一方で、産業界それぞれの分野でも、森林資源の循環や脱炭素の切り札として木材利用を進めていく環境が整えられつつあります。

建設・不動産業界の取り組み



「スコープ3まで対応するのに、木は有利だ」

企業としてグリーンな資産でなければ保てない状況になってきている。脱炭素社会に向けた行動計画をとりまよめ、建設時のCO₂排出量を正確に把握する算出ツールの整備をお進めている。木はあくまでRC造やS造よりも製造するときのCO₂排出量が少ない。また、乾式で建てられているので建築時のCO₂排出量も少ない。モジュール化・プレハブ化することで再利用も期待できる。(不動産デベロッパーA社・担当者様)





「木材利用を考えていかないと、この国には住めなくなってしまう」

国内の森林蓄積量がなくなってきており、森林資源の循環を生む取り組みが必要だ。このままだとこの国に住めなくなるという話も出てきており、今後はデベロッパーが各地域社会に対して何が出来るかということも伝えていかねばならない。木質化によってどの程度のCO₂削減量になるのか、今後そうした基準が示されるのを期待している。国内の新築着工数はまだまだ多く、厚さ30mmの木材を使用してもかなりの削減になる。木材の利用を進めていくことで、森林資源の循環を生んでいけるようにしたい。(不動産デベロッパーB社・担当者様)





「今後は環境不動産がグローバルスタンダードになっていく」

当社が豪州に建設したインテリジェントハウスはCLTを使用することにより同規模の建物に比べて内包炭素を約40%削減できた。また、立地のよさや柔らかさ、さらにウェルネスなど、これまでない価値が評価された。短期的収支を優先するのではなく、次の世代にどういったモノを残していくかという視点で、環境に対する意識を高く持たないといけない。今後は、そうした取り組みに投資が伸びていくと期待。(不動産デベロッパーC社・担当者様)



技術セミナー動画

高イメージのオリジナル動画をご覧いただけます。

【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー
「CLTとは？その利便性と美観に迫る」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「CLTは？その利便性と美観に迫る」
【お申し込み】
「CLT活用事例と美観に迫る」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー
「CLTの製造工程」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「CLTの製造工程」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー
「CLTでサクレモノ・ツクレナイモノ」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「CLTでサクレモノ・ツクレナイモノ」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第4回オンラインセミナー
「CLTを使ったワケ・設計の考え方」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「CLTを使ったワケ・設計の考え方」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第5回オンラインセミナー
「CLTの構造の考え方」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「CLTの構造の考え方」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第6回オンラインセミナー
「異なるCLTの耐久性」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「異なるCLTの耐久性」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

【アーカイブ動画】第7回オンラインセミナー
「建築現場でのCLT事例」/2021

【お申し込み】
CLTへの取り組み
【お申し込み】
「建築現場でのCLT事例」
【お申し込み】
「CLT活用事例」

41

⑪ 企業オーナー

CLT から見える未来
CLTの普及と未来について知ることができます。

一級建築士事務所 CLT 研究会
CLT 研究会 事務局
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
CLT 研究会 事務局
E-mail: info@clt-research.com

お施主の方・その他

企業オーナー

利用例業 建築

多層階の建築物
（住宅・学校・ホテル）



利用例業 建築以外

公園施設 商業施設
公共施設（学校・病院・福祉施設）



CLTサミット

CLTの未来を語る



CLTで未来に備える



トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

世界が「脱炭素」に向けて走り出した！～2050年カーボンニュートラル

地球温暖化を防ぐための取り組みが活発化しています。2050年までに温室効果ガスの排出量を「実質ゼロ」にする動きは、世界120以上の国・地域が目標として掲げ、わが国も2020年秋に表明しました。今や多くの企業にとってCO₂排出量は将来の経営や事業の大きなリスクになりかねません。一方で、投資市場では投資先を選ばぬ環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）の観点で重視するESG投資が広まっています。これは建設・不動産の世界でも同様で、立地や築年数といった従来評価に加えて環境・社会への貢献が不動産の新たな評価軸の一つになってきていると言えます。このように社会が大きく変わろうとしている今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

不動産業界の動向

不動産協会と日本ビルディング協会連合会は2021年に、脱炭素社会実現に向けた長期ビジョンを発表。それによると、2050年の社会像を想定し、環境負荷の低い建材など建設資機材の脱炭素化を推進することなどを挙げています。また、気候変動がもたらす大きな変化をリスクとしてとらえるだけでなく、技術革新や新ビジネス創出の機会としています。

不動産における脱炭素社会実現に向けた長期ビジョン

不動産業として想定する2050年の社会像

「脱炭素社会」 2050年までにカーボンニュートラルを実現した社会	「自然と調和した社会」 自然循環型で生物多様性に配慮した社会	「レジリエントな社会」 浄化作用を有する自然現象や災害に対して強い社会
<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH、ZEH+をはじめとした省エネ・再エネに配慮した建物 ・ 環境負荷が低い建材を使用した建物 ・ 再エネ設備、蓄電池、エネルギー融通を組み合わせ、地域全体でCO₂を削減できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再資源化可能な建材を使用した建物 ・ 水資源を有効利用した建物 ・ 屋上、壁面、敷地内の緑化した建物 ・ 都市の生物多様性保全に配慮した緑地を備えたまち ・ 気候に自然と触れ合えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創エネ設備や地下水利用等によって異常時でもエネルギーや上下水道などのインフラが使用できる建物 ・ 自律分散型エネルギー活用によって異常時でもエネルギーが使用できるまち

求められる価値の変化

不動産に求められる価値が変化し、不動産のあり方自体が変わる



技術セミナー動向

各イベントのクリックで動画をご覧いただけます。

【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー「CLTとは？その利用実例と実際に建てる」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年07月02日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLT実例」をのり活用実例と実際に建てる

【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー「CLTの製造工程」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年07月09日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLTの製造工程」

【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー「CLTでサクレモ・モ・ツクリたい」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年07月16日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLTでサクレモ・モ・ツクリたい」

【アーカイブ動画】第4回オンラインセミナー「CLTへの取り組み」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年07月23日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLTへの取り組み」

【アーカイブ動画】第5回オンラインセミナー「CLTの普及と未来」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年07月30日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLTの普及と未来」

【アーカイブ動画】第6回オンラインセミナー「CLTの普及と未来」/2021

📺 動画
📄 資料ダウンロード
📅 イベント開催日時
2021年08月06日
📍 イベント開催場所
オンラインセミナー
📌 参加費
無料
📌 申し込み方法
「CLTの普及と未来」

⑫ その他

CLTから見える未来
CLTの現在と未来について知ることがあります。

一般社団法人日本CLT協会
CLTの普及と未来について知ることがあります。

お施主の方・その他

その他

利用例集
建築



利用例集
建築以外



CLTサミット



CLTで
未来に備える



トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

脱炭素に向けた動きが活発化する建設・不動産業界

建設・不動産業界では、個々の企業レベルでも脱炭素に向けた取り組みが進められています。一方で、産官学それぞれの分野でも、森林資源の循環や脱炭素の切り札として木材利用を進めていく環境が整えられつつあります。

建設・不動産業界の取り組み

「スコープ3まで対応するのに、木は有利だ」



企業としてグリーンな消費でなければ保有できない状況になってきている。脱炭素社会に向けた行動計画をとりまどめ、建設時のCO₂排出量を正確に把握する算出ツールの整備をおこなっている。木はあらかじめRC造や鉄骨よりも製造するときのCO₂排出量が少ない。また、乾式で建てられているので建設時のCO₂排出量も少ない。モジュール化・プレハブ化することで再利用も期待できる。(不動産デベロッパー社・担当者様)



「木材利用を考えていかないと、この国には住めなくなってしまう」



国内の森林蓄積量がなくなってきており、森林資源の循環を生む取り組みが必要だ。このままだとこの国に住めなくなるといった話も出てきており、今後はデバロッパーが各地域社会に対して何が出来るかということも伝えていかねばならない。木質化によってどの程度のCO₂削減になるのか、今後そうした基準が示されるのを期待している。国内の新築施工量はまだまだ多く、厚さ30mmの木材を使用してもかなりの物量になる。木材の利用を進めていくことで、森林資源の循環を生んでいけるようにしたい。(不動産デベロッパー社・担当者様)



「今後は環境不動産がグローバルスタンダードになっていく」



当社が豪州に建設したインテリジェントハウスはCLTを使用することにより同規模の建物に比べて内包炭素を約40%削減できた。また、立地のよいビルと同程度の賃料で、企業経営から入居者も決まった。木特有の安らぎや柔らかさ、さらにウェルネスなど、これまでにない価値が評価された。短期的収益を優先するのではなく、次の世代にどういったものを残していくかという視点で、環境に対する意識を高く持たないといふ街にはならない。今後は、そうした取り組みに投資が続くと考えている。(不動産デベロッパー社・担当者様)



技術セミナー動画

各イメージのリンクを動画でご覧いただけます。

【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー
「CLTとは? その利便性と実用性」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「CLTで住宅の活用事例と実際に進む」

【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー
「CLTの製造工程」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「CLTの製造工程」

【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー
「CLTでサウレモ・ツクレノモノ」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「CLTでサウレモ・ツクレノモノ」

【アーカイブ動画】第4回オンラインセミナー
「CLTを使ったワン・ストップの考え方」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「CLTでワン・ストップの考え方」

【アーカイブ動画】第5回オンラインセミナー
「CLTの推進の考え方」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「CLTの推進の考え方」

【アーカイブ動画】第6回オンラインセミナー
「質になるCLTの耐久性」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「質になるCLTの耐久性」

【アーカイブ動画】第7回オンラインセミナー
「建築現場でのCLT事例」/2021

📄トピック
CLTへの取り組み
最新レポート
「建築現場でのCLT事例」

43

⑬ 官公庁・⑭ 自治体



冒頭にアクセス数の多いページを掲示してすぐ飛べるようにした。

⑮ 各種団体

CLTから見える未来
CLTの現在と未来について知ることが出来ます。

一般社団法人日本CLT協会
CLTの普及と未来について知ることが出来ます。

官公庁・自治体・各種団体

各種団体



利用例集
建築



利用例集
建築以外



CLTサミット



CLTで未来に備える

トピックス

CLTで未来に備える

世界が「脱炭素」に向けて走り出している今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

世界が「脱炭素」に向けて走り出した！～2050年カーボンニュートラル

地球温暖化を防ぐための取り組みが活発化しています。2050年までに温室効果ガスの排出量を「実質ゼロ」にする動きは、世界120以上の国・地域が目標として掲げ、わが国も2020年秋に表明しました。今や多くの企業にとってCO₂排出量は将来の経営や事業の大きなリスクになりかねません。一方で、投資市場では投資先を選ぶ際に環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）の観点で重視するESG投資が広まっています。これは建設・不動産の世界でも同様で、立地や築年数といった従来の評価に加え、環境・社会への貢献が不動産の新たな評価軸の一つになってきているとも言えます。このように社会が大きく変わろうとしている今、あらためて注目されているのがCLTなどの木質材料の使用です。内部にCO₂を蓄え、製造・建設時の排出量を抑えることができるCLTは、中大規模建築物にも多く使用されるようになってきました。この木質材料の魅力や特性は、これからの建設・不動産の脱炭素化や新たな価値の創出に貢献します。

不動産業界の動向

不動産協会と日本ビルディング協会連合会は2021年に、脱炭素社会実現に向けた長期ビジョンを発表。それによると、2050年の社会像を想定し、環境負荷の低い建材など建設資機材の脱炭素化を推進することなどを挙げています。また、気候変動がもたらす大きな変化をリスクとしてとらえるだけでなく、技術革新や新ビジネス創出の機会としています。

不動産における脱炭素社会実現に向けた長期ビジョン

不動産として想定する2050年の社会像

脱炭素社会 2050年までにカーボンニュートラルを実現した社会	自然と調和した社会 自然循環型で生物多様性に配慮した社会	レジリエントな社会 激化する異常気象や災害に対して強い社会
<ul style="list-style-type: none"> • ZEH、ZEH+をはじめとした省エネ・再エネに配慮した建物 • 環境負荷が低い建材を使用した建物 • 再エネ設備、蓄電機、エネルギー融通を組み合わせ、地域全体でCO₂を削減できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 資源循環可能な建材を使用した建物 • 水資源を有効利用した建物 • 屋上、壁面、敷地内の緑化した建物 • 都市の生物多様性保全に配慮した緑地を備えたまち • 気候に自然と触れ合えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> • 創エネ設備や地下水利用等によって非常時にもエネルギーや上下水道などのインフラが使用できる建物 • 自律分散型エネルギー活用によって非常時にもエネルギーが使用できるまち



求められる価値の変化

不動産に求められる価値が変化し、
不動産業のあり方自体が変わる

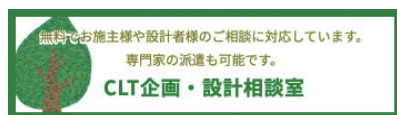
技術セミナー動向

各イメージのクリックで動画をご覧いただけます。

<p>【アーカイブ動画】第1回オンラインセミナー「CLTとは？その利用事例と発展に迫る」/2021</p> <p>（G-1）</p> <p>CLTへの取り組み 第1回セミナー 「CLTと建築の活用事例」 実例に迫る</p>	<p>【アーカイブ動画】第2回オンラインセミナー「CLTの製造工程」/2021</p> <p>（G-2）</p> <p>CLTへの取り組み 第2回セミナー 「CLTの製造工程」</p>	<p>【アーカイブ動画】第3回オンラインセミナー「CLTでダブルゼロ・ゼロエミッション」/2021</p> <p>（G-3）</p> <p>CLTへの取り組み 第3回セミナー 「CLTでダブルゼロ・ゼロエミッション」</p>
<p>【アーカイブ動画】第4回オンラインセミナー「CLTを使ったファクトリー設計の考え方」/2021</p> <p>（G-4）</p> <p>CLTへの取り組み 第4回セミナー 「CLTを使ったファクトリー設計の考え方」</p>	<p>【アーカイブ動画】第5回オンラインセミナー「CLTの構造の考え方」/2021</p> <p>（G-5）</p> <p>CLTへの取り組み 第5回セミナー 「CLTの構造の考え方」</p>	<p>【アーカイブ動画】第6回オンラインセミナー「気候に備えるCLTの耐久力」/2021</p> <p>（G-6）</p> <p>CLTへの取り組み 第6回セミナー 「気候に備えるCLTの耐久力」</p>

【アーカイブ動画】第7回オンラインセミナー「気候変動とCLTの未来」/2021

⑤ CLT相談室



CLT企画・設計相談室

施主や設計者を主な対象に、CLTを使った建築物の企画・設計について支援している。

CLT企画・設計相談室

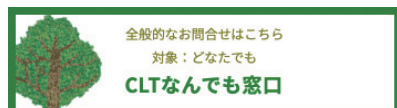
[HOME](#) > CLT企画・設計相談室

CLT（直交集成板）は、これまでの構造や工法とは異なる部分が多く、発注や設計、施工等において、特に初めての方はお困りになるケースがあります。

そこで本事業では、昨年に続き、そのような方のお声にお応えし、基本計画や設計実務などに関するお悩み解決をサポートし、

1. CLTを活用した建築物を増やす
2. 設計者・施工者などを増やす
3. 疑問点を集めて分析すること

ことを目的としています。



CLTなんでも窓口

あらゆる方を対象に質問、相談を受付。電話またはメールで対応している。

CLTなんでも窓口

[HOME](#) > CLTなんでも窓口

対象：どなたでも

CLTや日本CLT協会についてなど
気軽にご質問ください。

お電話でのお問合せ

 **03-5825-4774**

注意事項

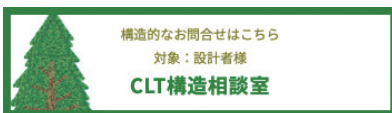
お問合せ内容によっては、お返事にお時間をいただく場合がございます。

3営業日が経過しても連絡がない場合、お手数ではございますがお電話にてご連絡ください。TEL：03-5825-4774

送信完了後、自動返信メールが届きます。届かない場合、メールアドレスを誤って入力されていないか、迷惑メール設定やドメイン指定受信設定をされていないかをご確認ください。

ドメイン指定受信設定をされている場合、「@clta.jp」を受信できるかをご確認ください。

CLT建築を予定・検討されている方は、「[CLT企画・設計相談室](#)」へお問い合わせください。



CLT構造相談室

設計者を対象とした相談窓口。専門性の高い内容を想定し、対応はメールのみ。

CLT構造相談室

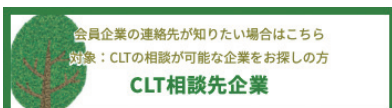
[HOME](#) > CLT構造相談室

対象：設計者様

CLTを用いた建築の構造に関するご質問はこちら。
※その他のご質問はCLTなんでも窓口までお問合せください。

注意事項

お問合せ内容によっては、お返事にお時間をいただく場合がございます。
3営業日が経過しても連絡がない場合、お手数ではございますがお電話にてご連絡ください。TEL：03-5825-4774
当協会からの回答はアドバイスです。回答に起因する損害について当協会は責任を負いかねます。ご自身の判断のもとにご利用ください。
当協会からの回答は特定のお問合せに回答するもので、一般的に適用できない内容が含まれます。回答の一部または全部を転



CLT相談先企業

日本CLT協会の正会員・一般賛助会員を紹介。電話かメールで直接相談が可能。

相談先企業

[HOME](#) > 相談先企業

対象：CLTの相談が可能な企業をお探しの方

CLTを扱う企業を、対応分野（CLTの設計／製造・販売／工事等）・地域で絞り込んで探すことができます。
※掲載企業は、日本CLT協会の正会員・一般賛助会員です

「CLT製造企業・加工企業一覧」は[こちら](#)

相談先企業を絞り込む +

「CLTで未来に備える」

ESG投資やSDGsにおけるCLTの有効性は、建設プロジェクトにおける木質化の方針決定を行う民間企業の経営者層あるいは環境関連事業部門及び自治体の意思決定者に十分届いていないため、CLT採用によるCO₂削減効果や技術開発・コスト等事業性検討に必要な情報を伝える資料を普及策として作成した。

サステナビリティ経営のためのCLT活用

CLTで、未来に備える。

今、伝えたい、木の実力と魅力



注目のコンテンツ

NEW! **【動画レポート】**
日本とスウェーデンを結んだ木造建築のワークショップ
Wood City Sweden (Trästad Sverige)の取り組み

日本と同じ森林国であるスウェーデンでは、早くから計画的な林業振興が進められてきており、同時に国内での木造建築の普及、推進に官民一体となって取り組み成果をあげています。
このほど、同国で木造建築を推進する団体の代表者と日本の林業関係者とを結んだワークショップが開催されました。スウェーデンにおける先進的な取り組みの発表や、日本の参加者との活発な議論の様子を映像で紹介します。



4分でわかる!なぜ今、CLT!?

世界が“脱炭素”に向けて走り出した!~2050年カーボンニュートラルな社会



見る  YouTube

さらに詳しい情報をパンフレットで!
「サステナビリティ経営のためのCLT活用ハンドブック」

パンフレットダウンロードへ



“脱炭素”に向けた建設・不動産業界の取り組み

「建設工事プロジェクトで温室効果ガス排出量を削減し、スコープ3[※]に対応するのに、木は有利だ」

不動産デベロッパー A社



「木材利用を考えていかないと、この国には住めなくなってしまう」

不動産デベロッパー B社



「今後は環境不動産がグローバルスタンダードになっていく」

不動産デベロッパー C社



木材利用に向けた産官学の取り組み

環境整備	実証実験	環境認証制度	ESG投資
<p>林野庁 木材利用の環境整備や炭素算出法など推進</p>	<p>三重大学 建設時の温室効果ガス排出量に削減効果</p>	<p>DBJ Green Building 認証 木質化プロジェクトの評価項目を導入</p>	<p>木質化物件に優遇策 木造物件は最低利回りの通常値を引き下げ</p>

海外の取り組み

【CLTワークショップ動画レポート】
もり・まち・ひとの交差点～森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」
Wood City Sweden(Trästad Sverige)の取り組み

動画出演者



発表者
Jessica Becker 氏
(Wood City Sweden)



解説者(兼通訳)
後藤 豊 先生
(チャルマーズ工科大学 建築土木工学部 研究員)



司会
青島 啓太 先生
(追手門学院大学 文学部人文学科 准教授)

Wood City Swedenの取り組み紹介

Wood City Swedenへのインタビュー

ディスカッション～日本の木造建築産業の発達とCLT利用促進により地方創生をはかるためには



<再生後に映像右下の全画面表示をクリックすると大きな表示でご覧いただけます>

スウェーデンで産官学の連携による木造建築を推進する団体であるWood City Swedenをゲストに迎え、「Wood City Swedenの取り組み」ワークショップを開催しました。木造建築の普及をテーマに活発な議論が交わされました。ぜひご覧ください。

もり・まち・ひとの交差点～森林・木造建築の北欧先進国「スウェーデン」
「Wood City Swedenの取り組み」

開催日 : 2022年11月18日(金)
撮影場所 : ROOFLAG賃貸住宅未来展示場
主催 : 一般社団法人日本CLT協会
運営協力 : 株式会社山下PMC

【内容】

1. Wood City Swedenの取り組み紹介
2. Wood City Swedenへのインタビュー
3. ディスカッション～日本の木造建築産業の発達とCLT利用促進により地方創生をはかるためには

【出席者】

- Jessica Becker氏(Wood City Sweden)
- 後藤豊先生(チャルマーズ工科大学 建築土木工学部 研究員)
- CLTで地方創生を実現する官長連合
- 青島啓太先生(追手門学院大学 文学部人文学科 准教授)

全国のCLTを知る

全国のCLT建築の利用例を紹介する「利用例集」として、内閣官房CLT活用推進のための政府一元窓口のご協力により、全国996件におよぶ「CLTを活用した建築物一覧」を追加（市町村レベルで検索可）した。

写真掲載はないが全国996件の「CLTを活用した建築物一覧」を追加した。



「CLTを活用した建築物一覧」

CLT から見える未来
CLTの活用し方について知る事ができます。

一般社団法人日本CLT協会
6/30まで100の建築家
3D-エイト・ナイン
CLT Laboratory Project

CLTを活用した建築物一覧

Search

※出典：内閣官房CLT活用推進のための政府一元窓口 令和5年6月末現在

条件検索 検索はこちらから 開く

ヒット件数：996件 全996件中 1-20件を表示

都道府県	所在地	建物名	用途 (「F」は国費名称)	CLTの使い方			階数	竣工(予定)年月	
				パネル工法 (構造材)	部分利用 (構造材)	内装等 (非構造材)			
北海道	札幌市	札幌駅前通まちづくり (株)	施設改修/ウッド・キオスク・プロジェクト	床・天井・壁			34.8	1	平成27年3月
北海道	札幌市	北海道森林組合連合会	事務所		壁		3.2	2	平成31年4月
北海道	札幌市	林野庁	庁舎「石狩森林管理事務所」事務所、車庫		壁及び天井の一部		8.0	1	令和2年8月
北海道	札幌市	(株) 星野仙行	事務所		床		42.1	3	令和3年11月
北海道	札幌市	松原工業 (株)	オフィスビル「RM.201」 オフィスビル「松原ビル (仮称)」	床			57.7	上10 下1	令和2年10月
北海道	札幌市	三菱地所 (株) 「ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ」	「サ・ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園」 (仮称) 大通西1丁目計画			9~11階床	473.0	上11 下1	令和3年7月
北海道	札幌市	(国大) 北海道大学	大学「医学部百年記念館」			階段廊下	0.8	2	令和1年9月
北海道	札幌市	(株) 竹中工務店	事務所「北海道地区FMセンター」	床			73.7	2	令和3年11月
北海道	函館市	林野庁	函館地方合同庁舎				0.3	7	令和3年2月
北海道	旭川市	(地独) 北海道立総合研究機構	事務所 (実験棟) 「Hokkaido CLT Pavilion」	床・壁・屋根			64.3	1	平成31年3月
北海道	旭川市	(株) 北海道新聞社	多目的施設 「北海道マイホームセンター旭川北野都会館インフォメーションセンター」	天井			10.0	1	令和1年9月
北海道	旭川市	北海道	専修学校「北海道立北の森づくり専門学校」	壁、天井	窓		157.8	2	令和3年2月
北海道	釧路市	釧路省	公共使用「阿家源神楽地トレ」		一部壁		0.6	1	平成30年3月
北海道	釧路市	新太平洋商事 (株)	倉庫A棟、B棟		耐力壁		185.6	1	令和2年9月
北海道	北見市	協同組合オホーツクウッドピア	研修施設「CLTセミナーハウス」	2階床、壁、天井			74.7	2	平成27年3月
北海道	北見市	(株) F、K	事務所	壁、屋根			103.2	1	令和1年12月
北海道	北見市	るべしベ分理推進協議会	分棟ブース「woody booth 06」	床、壁、天井	カウンター兼イス		4.9	1	令和2年4月
北海道	北見市	るべしベ分理推進協議会	分棟ブース「woody booth 03」	床、壁、天井	カウンター兼イス		2.6	1	令和2年4月
北海道	北見市	三九製糖 (株)	事務所「アミキットベース」	床、壁、天井			109.6	1	令和3年3月
北海道	北見市	三九製糖 (株)	展示場/事務所「アミキットベース」	床、壁、天井			121.8	1	令和3年3月

全996件中 1-20件を表示

1 2 3 4 5 6 7 ... 50



条件検索 検索はこちらから 開く

ヒット件数：996件 全996件中 981-996件を表示

都道府県	所在地	建物名	用途 (「F」は国費名称)	CLTの使い方			階数	竣工(予定)年月	
				パネル工法 (構造材)	部分利用 (構造材)	内装等 (非構造材)			
鹿児島県	南大隅町	南大隅町	大島海浜公園多目的交流施設		屋根		39.7	1	令和3年8月
鹿児島県	肝付町	肝付町	社会福祉施設「肝付町福祉会館」		壁		21.8	1	平成29年5月
鹿児島県	肝付町	上野惣屋 (株)	事務所	壁、床、屋根			115.6	2	令和1年8月
鹿児島県	肝付町	「個人」	研修施設	床、壁、屋根			82.0	1	令和11年11月
鹿児島県	肝付町	山合木材 (株)	実験施設「山合木材FDOL実験棟」	壁・屋根			26.8	1	令和1年10月
鹿児島県	肝付町	肝付町	交流施設「フォーラム棟」	壁			0.5	1	平成30年3月
鹿児島県	肝付町	肝付町	事務所	壁			1.5	2	平成31年3月
鹿児島県	肝付町	(有) 千華	「グループホーム頼と島」多目的ホール	壁、屋根			32.1	1	令和3年3月
鹿児島県	肝付町	合同会社レンタルの山下	雪山用品のレンタルショップ「レンタルの山下」		屋根		4.2	1	令和4年3月
沖縄県	石垣市	国土交通省	倉庫 (石垣航空基地)	床・屋根			6.0	1	令和4年1月
沖縄県	沖縄市	ライフデザイン・カバヤ (株)	分譲住宅				6.2		令和4年2月
沖縄県	沖縄市	ライフデザイン・カバヤ (株)	分譲住宅				7.4		令和4年2月
沖縄県	宮古島市	三菱地所 (株)	みやこ下地島空港旅客ターミナルビル	壁、屋根			1,217.6	1	平成31年3月
沖縄県	志納村	(株) グリーンスクール	保育園「子どもの森保育園」	屋根			178.0	1	平成29年12月
沖縄県	北谷町	(社) 稲穂会	保育園「子どもの森」		トイレ兼採天板		0.0	3	平成31年4月
沖縄県	北谷町	北谷町	真川小学校放課後児童クラブ	屋根、耐力壁			19.1	1	令和4年3月

全996件中 981-996件を表示

1 ... 44 45 46 47 48 49 50

top

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数一覧 (2022年12月19日～2024年2月29日)

計測期間 2022.12.19～2024.2.29		設計者の方		お施主の方	
		意匠・デザイン	構造	マンション・不動産オーナー	企業オーナー
技術セミナー／その他 (動画)	【アーカイブ配信】第1回オンラインセミナー「CLTとは？その利用実例と実態に迫る」	109	29	92	190
	【アーカイブ配信】第2回オンラインセミナー「CLTの製造工程」	26	170	16	24
	【アーカイブ配信】第3回オンラインセミナー「CLTでツクレルモノ・ツクレナイモノ」	120	29	113	22
	【アーカイブ配信】第4回オンラインセミナー「CLTを使ったワケ・設計の考え方」	119	125	88	95
	【アーカイブ配信】第5回オンラインセミナー「CLTの構造の考え方」	124	195	25	26
	【アーカイブ配信】第7回オンラインセミナー「気になるCLTの耐久性」	25	45	26	22
	【アーカイブ配信】第8回オンラインセミナー「相談窓口でのCLT事例」	108	108	124	124
	CLTのけんちくー性能編ー 2019年	27	6	11	221
	「CLTパネル工法建築物の建て方」編 2021年	460	300	7	6
	木の精のぼうけん	15	6	130	146
	石破茂氏が語るCLT 2016年	26	6	111	143
	【施工動画】「COCO CLT建て方動画」つくば「COCO CLT」実験棟2016	16	6	7	6
	CLTができるまで 2019	29	6	7	6
	「建築家が語るCLTの魅力」デベロッパー講習会動画2018	112	6	119	289
パンフレット	CLTデザインノート2019	208	181	9	6
	CLTコンセプトブック2019	126	6	8	108
	はじめるCLT建築	155	6	82	7
	ARE YOU READY?	116	105	104	148
参考書籍 (無料)	CLT建築物の設計ガイドブック (愛媛県CLT普及協議会、2019)	129	111	81	6
	CLT建築物ディテール集 (CLT建築物推進協議会、2021)	176	153	7	6
	木の学校づくり 学校施設等のCLT活用事例 (文部科学省、2020)	198	186	8	6
	CLT現わし使用のQ&A (日本CLT協会、2021)	172	153	8	6
	ここまでできる木造建築のすすめ (木を活かす建築推進協議会、2021)	109	104	86	6
	中・大規模/都市木造建築防水設計 (田島ルーフィング、2020)	1118	868	8	6
参考書籍 (有料)	時流をつかめ！企業価値を高める木造建築 (ウッドソリューション・ネットワーク、2019)	127	121	116	140
	CLTパネル工法 設計入門 (日本CLT協会 2021)	105	121	99	7
	2019年版 実務者のためのCLT建築物設計の手引き (第3版) (日本CLT協会 2019)	122	168	98	7
	2016年版 CLTを用いた建築物の設計施工マニュアル (増補版)	7	316	7	7
	2016年公布・施行 CLT関連告示等解説書 (増補版)	132	143	7	7
	CLTパネル工法 低層建築物施工マニュアル (日本CLT協会 2021)	107	172	8	7
	CLTパネル工法 中高層・大規模建築物施工ハンドブック (日本CLT協会 2021)	106	106	109	7
	ディテールの教科書 中大規模木造編 (日経アーキテクチャ、2020)	304	351	8	6
書籍販売はこちら	118	163	92	7	
CLT相談室	CLT企画・設計相談室	96	6	90	159
	CLTなんでも窓口	96	6	87	166
	CLT構造相談室	92	106	79	7
	CLT相談先企業	96	7	109	271
中央バナー	利用例集 (建築) ※2023.12より	57	34	24	170
	利用例集 (建築以外) ※2023.12より	27	22	21	18
	CLTで未来に備える	160	270	101	99
	CLTサミット	188	130	92	129
フッター バナー	一般財団法人日本CLT協会	103	107	100	99
	中規模木造建築データベース	438	83	88	83
	中規模木造建築ポータルサイト	109	100	93	801
合計		6,413	5,442	2,705	3,822

	建設関連団体・企業・その他								自治体・団体			集計
	その他	ゼネコン /サブコ ン	建設会社 /工務店	住宅メー カー	設備/資 材メーカ ー	不動産会 社(デベ ロッパ ー)	流通/商 社	建設関 連・その 他	官公庁	自治体	各種団体	
	9	139	11	10	85	12	14	129	80	78	84	1071
	20	192	175	21	24	16	24	27	92	96	97	1020
	17	99	96	101	101	116	112	121	100	102	103	1352
	7	12	9	12	12	12	14	17	82	81	84	769
	18	48	39	123	141	16	26	28	94	95	88	1086
	18	91	144	107	143	14	28	191	94	94	82	1124
	18	13	9	97	23	116	25	24	98	98	98	1083
	6	6	6	100	159	9	6	213	94	103	100	1067
	5	101	96	5	5	8	6	6	7	8	7	1027
	9	6	6	97	98	144	6	6	95	92	93	949
	19	6	6	6	5	105	159	161	101	95	103	1052
	5	195	178	5	5	8	6	6	7	8	7	465
	4	338	334	5	5	10	6	6	7	7	7	777
	18	87	7	5	5	244	266	96	7	8	7	1276
	6	6	8	135	157	8	6	8	7	8	8	761
	7	6	8	94	105	8	99	8	87	86	83	839
	10	110	103	107	92	92	95	101	91	90	91	1232
	10	101	98	103	87	86	120	121	85	96	95	1475
	4	97	90	94	83	167	206	164	103	95	89	1,519
	10	6	7	5	5	8	6	7	7	8	7	418
	6	104	138	145	168	9	6	8	128	110	111	1,331
	6	6	8	5	5	8	6	8	7	8	7	413
	10	99	92	80	406	402	489	7	118	91	109	2,208
	6	7	8	5	5	8	6	8	7	8	7	2,075
	20	99	104	100	102	106	120	100	102	111	111	1,579
	12	90	159	101	5	141	6	8	92	94	95	1,135
	11	97	90	127	5	171	6	9	85	95	90	1,181
	6	6	7	5	5	10	6	7	92	92	97	670
	6	223	156	140	159	10	6	7	92	85	93	1,266
	6	96	89	107	88	8	6	8	81	93	92	968
	13	94	92	6	5	95	6	8	88	95	88	918
	6	6	8	6	6	8	6	8	82	88	83	976
	12	99	99	92	88	95	6	7	101	97	95	1,171
	11	100	92	88	96	105	155	125	94	105	104	1,426
	11	90	110	90	87	99	110	115	93	91	88	1,339
	10	87	90	87	86	152	139	108	123	93	83	1,342
	9	95	95	96	86	88	213	117	98	98	99	1,577
	15	28	20	23	21	22	161	177	24	26	25	827
	11	18	16	19	17	15	18	20	20	24	20	286
	10	99	190	91	90	89	98	99	102	92	103	1,693
	8	113	97	81	91	74	135	123	90	78	85	1,514
	12	93	105	108	99	92	109	101	109	101	100	1,438
	10	77	85	95	83	77	388	91	83	94	83	1,858
	12	94	101	102	90	103	833	809	96	100	91	3,534
	459	3,579	3,481	3,031	3,233	3,186	4,264	3,518	3,345	3,317	3,292	53,087

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

① 意匠設計・デザイン事務所

(2024年2月末現在訪問数／6413件)

■中央バナー

利用例集(建築) ※2023年12月より	57件
利用例集(建築以外) ※2023年12月より	27件
CLTで未来に備える	160件
CLTサミット	188件

■技術セミナー／その他動画

第1回オンラインセミナー	106件
第3回オンラインセミナー	120件
第4回オンラインセミナー	119件
第5回オンラインセミナー	124件
第8回オンラインセミナー	108件
「CLTパネル工法建築物の建て方」編	460件
「建築家が語るCLTの魅力」	112件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	208件
CLTコンセプトブック2019	126件
はじめるCLT建築	155件
ARE YOU READY?	116件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	129件
CLT建築物ディテール集	176件
中・大規模／都市木造建築防水設計	118件
時流をつかめ!	127件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	96件
CLTなんでも窓口	96件
CLT構造相談室	92件
CLT相談先企業	96件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

② 構造設計事務所

(2024年2月末現在訪問数 / 5442件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	34件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	22件
CLTで未来に備える	270件
CLTサミット	130件

■技術セミナー / その他動画

第2回オンラインセミナー	170件
第4回オンラインセミナー	125件
第5回オンラインセミナー	195件
第8回オンラインセミナー	108件
「CLTパネル工法建築物の建て方」編	300件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	181件
CLTコンセプトブック2019	6件
はじめるCLT建築	6件
ARE YOU READY?	105件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	111件
CLT建築物ディテール集	153件
中・大規模 / 都市木造建築防水設計	868件
時流をつかめ!	121件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	6件
CLTなんでも窓口	6件
CLT構造相談室	106件
CLT相談先企業	7件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

③ マンション・不動産オーナー

(2024年2月末現在訪問数 / 2705件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	24件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	21件
CLTで未来に備える	101件
CLTサミット	92件

■技術セミナー / その他動画

第1回オンラインセミナー	92件
第3回オンラインセミナー	113件
第4回オンラインセミナー	88件
第5回オンラインセミナー	25件
第8回オンラインセミナー	124件
木の精のぼうけん	130件
「建築家が語るCLTの魅力」	119件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	9件
CLTコンセプトブック2019	8件
はじめるCLT建築	82件
ARE YOU READY?	104件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	81件
ここまでできる木造建築のすすめ	86件
中・大規模 / 都市木造建築防水設計	8件
時流をつかめ!	116件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	90件
CLTなんでも窓口	87件
CLT構造相談室	79件
CLT相談先企業	109件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

④ 企業オーナー

(2024年2月末現在訪問数 / 3822件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	170件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	18件
CLTで未来に備える	99件
CLTサミット	129件

■技術セミナー / その他動画

第1回オンラインセミナー	190件
第4回オンラインセミナー	95件
第8回オンラインセミナー	124件
CLTのけんちく ―性能編―	221件
木の精のぼうけん	146件
石破茂氏が語るCLT	143件
「CLTパネル工法建築物の建て方」編	289件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	6件
CLTコンセプトブック2019	108件
はじめるCLT建築	7件
ARE YOU READY?	148件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	6件
CLT建築物ディテール集	6件
時流をつかめ!	140件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	159件
CLTなんでも窓口	166件
CLT構造相談室	7件
CLT相談先企業	271件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑤ その他

(2024年2月末現在訪問数 / 459件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	15件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	11件
CLTで未来に備える	10件
CLTサミット	8件

■技術セミナー / その他動画

第2回オンラインセミナー	20件
第3回オンラインセミナー	17件
第5回オンラインセミナー	18件
第7回オンラインセミナー	18件
第8回オンラインセミナー	18件
石破茂氏が語るCLT	19件
「建築家が語るCLTの魅力」	18件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	6件
CLTコンセプトブック2019	7件
はじめるCLT建築	10件
ARE YOU READY?	10件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物ディテール集	10件
ここまでできる木造建築のすすめ	10件
時流をつかめ!	20件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	11件
CLTなんでも窓口	11件
CLT構造相談室	10件
CLT相談先企業	9件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑥ ゼネコン・サブコン

(2024年2月末現在訪問数／3579件)

■中央バナー

利用例集(建築) ※2023年12月より	28件
利用例集(建築以外) ※2023年12月より	18件
CLTで未来に備える	99件
CLTサミット	113件

■技術セミナー／その他動画

第1回オンラインセミナー	139件
第2回オンラインセミナー	192件
第3回オンラインセミナー	99件
第7回オンラインセミナー	91件
「CLTパネル工法建築物の建て方」編	101件
「COCO CLT建て方動画」	195件
CLTができるまで	338件
建築家が語るCLTの魅力	87件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	6件
CLTコンセプトブック2019	6件
はじめるCLT建築	110件
ARE YOU READY?	101件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	97件
木の学校づくり	104件
時流をつかめ!	99件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	100件
CLTなんでも窓口	90件
CLT構造相談室	87件
CLT相談先企業	95件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑦ 建設会社・工務店

(2024年2月末現在訪問数 / 3481件)

■中央バナー

利用例集(建築) ※2023年12月より	20件
利用例集(建築以外) ※2023年12月より	16件
CLTで未来に備える	190件
CLTサミット	97件

■技術セミナー / その他動画

第2回オンラインセミナー	175件
第3回オンラインセミナー	96件
第7回オンラインセミナー	144件
「CLTパネル工法建築物の建て方」編	96件
「COCO CLT建て方動画」	178件
CLTができるまで	334件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	8件
CLTコンセプトブック2019	8件
はじめるCLT建築	103件
ARE YOU READY?	98件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	90件
木の学校づくり	138件
時流をつかめ!	104件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	92件
CLTなんでも窓口	110件
CLT構造相談室	90件
CLT相談先企業	95件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑧ 住宅メーカー

(2024年2月末現在訪問数／ 3031件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	23件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	19件
CLTで未来に備える	91件
CLTサミット	81件

■技術セミナー／その他動画

第2回オンラインセミナー	21件
第3回オンラインセミナー	101件
第5回オンラインセミナー	123件
第7回オンラインセミナー	107件
第8回オンラインセミナー	97件
CLTのけんちく ―性能編―	100件
木の精のぼうけん	97件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	135件
CLTコンセプトブック2019	94件
はじめるCLT建築	107件
ARE YOU READY?	103件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	94件
木の学校づくり	145件
ここまでできる木造建築のすすめ	80件
時流をつかめ!	100件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	88件
CLTなんでも窓口	90件
CLT構造相談室	87件
CLT相談先企業	96件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑨ 設備・資材メーカー

(2024年2月末現在訪問数 / 3233件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	21件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	17件
CLTで未来に備える	90件
CLTサミット	91件

■技術セミナー / その他動画

第1回オンラインセミナー	85件
第2回オンラインセミナー	24件
第3回オンラインセミナー	101件
第5回オンラインセミナー	141件
第7回オンラインセミナー	143件
CLTのけんちく ―性能編―	159件
木の精のぼうけん	98件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	157件
CLTコンセプトブック2019	105件
はじめるCLT建築	92件
ARE YOU READY?	87件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	83件
木の学校づくり	163件
ここまでできる木造建築のすすめ	406件
時流をつかめ!	102件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	96件
CLTなんでも窓口	87件
CLT構造相談室	86件
CLT相談先企業	86件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑩ 不動産会社（デベロッパー）

（2024年2月末現在訪問数／3186件）

■中央バナー

利用例集（建築）※2023年12月より	22件
利用例集（建築以外）※2023年12月より	15件
CLTで未来に備える	89件
CLTサミット	74件

■技術セミナー／その他動画

第3回オンラインセミナー	116件
第8回オンラインセミナー	116件
木の精のぼうけん	144件
石破茂氏が語るCLT	105件
「建築家が語るCLTの魅力」	244件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	8件
CLTコンセプトブック2019	8件
はじめるCLT建築	92件
ARE YOU READY?	86件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	167件
ここまでできる木造建築のすすめ	402件
時流をつかめ!	106件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	105件
CLTなんでも窓口	99件
CLT構造相談室	152件
CLT相談先企業	88件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑪ 流通・商社

(2024年2月末現在訪問数 / 4264件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	161件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	18件
CLTで未来に備える	98件
CLTサミット	135件

■技術セミナー / その他動画

第1回オンラインセミナー	14件
第3回オンラインセミナー	112件
第4回オンラインセミナー	14件
第8回オンラインセミナー	25件
石破茂氏が語るCLT	159件
建築家が語るCLTの魅力	266件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	6件
CLTコンセプトブック2019	99件
はじめるCLT建築	95件
ARE YOU READY?	120件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	206件
ここまでできる木造建築のすすめ	489件
時流をつかめ!	120件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	155件
CLTなんでも窓口	110件
CLT構造相談室	139件
CLT相談先企業	213件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑫ 建設関連・その他

(2024年2月末現在訪問数／3518件)

■中央バナー

利用例集(建築) ※2023年12月より	177件
利用例集(建築以外) ※2023年12月より	20件
CLTで未来に備える	99件
CLTサミット	123件

■技術セミナー／その他動画

第1回オンラインセミナー	129件
第3回オンラインセミナー	121件
第7回オンラインセミナー	191件
CLTのけんちく ―性能編―	213件
石破茂氏が語るCLT	161件
「建築家が語るCLTの魅力」	96件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	8件
CLTコンセプトブック2019	8件
はじめるCLT建築	101件
ARE YOU READY?	121件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	164件
木の学校づくり	8件
時流をつかめ!	100件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	125件
CLTなんでも窓口	115件
CLT構造相談室	108件
CLT相談先企業	117件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑬ 官公庁

(2024年2月末現在訪問数 / 3345件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	24件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	20件
CLTで未来に備える	102件
CLTサミット	90件

■技術セミナー / その他動画

第2回オンラインセミナー	92件
第3回オンラインセミナー	100件
第5回オンラインセミナー	94件
第7回オンラインセミナー	94件
第8回オンラインセミナー	98件
木の精のぼうけん	95件
石破茂氏が語るCLT	101件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	7件
CLTコンセプトブック2019	87件
はじめるCLT建築	91件
ARE YOU READY?	85件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	103件
木の学校づくり	128件
ここまでできる木造建築のすすめ	118件
時流をつかめ!	102件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	94件
CLTなんでも窓口	93件
CLT構造相談室	123件
CLT相談先企業	98件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑭ 自治体

(2024年2月末現在訪問数／ 3317件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	26件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	24件
CLTで未来に備える	92件
CLTサミット	78件

■技術セミナー／その他動画

第1回オンラインセミナー	78件
第2回オンラインセミナー	96件
第3回オンラインセミナー	102件
第4回オンラインセミナー	81件
第5回オンラインセミナー	95件
第7回オンラインセミナー	94件
第8回オンラインセミナー	98件
CLTのけんちくー性能編ー	103件
木の精のぼうけん	92件
石破茂氏が語るCLT	95件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	8件
CLTコンセプトブック2019	86件
はじめるCLT建築	90件
ARE YOU READY?	96件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	95件
木の学校づくり	110件
時流をつかめ!	111件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	105件
CLTなんでも窓口	91件
CLT構造相談室	93件
CLT相談先企業	98件

2-4. WEBコンテンツアクセスログ分析結果

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑮ 各種団体

(2024年2月末現在訪問数 / 3292件)

■中央バナー

利用例集(建築) ※2023年12月より	25件
利用例集(建築以外) ※2023年12月より	20件
CLTで未来に備える	103件
CLTサミット	85件

■技術セミナー / その他動画

第2回オンラインセミナー	97件
第3回オンラインセミナー	103件
第5回オンラインセミナー	88件
第8回オンラインセミナー	98件
CLTのけんちく ―性能編―	100件
木の精のぼうけん	93件
石破茂氏が語るCLT	103件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	8件
CLTコンセプトブック2019	83件
はじめるCLT建築	91件
ARE YOU READY?	95件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	89件
木の学校づくり	111件
ここまでできる木造建築のすすめ	109件
時流をつかめ!	111件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	104件
CLTなんでも窓口	88件
CLT構造相談室	83件
CLT相談先企業	99件

WEBサイト各ページへの訪問件数例

⑩ 全合計

(2024年2月末現在訪問数／ 53087件)

■中央バナー

利用例集 (建築) ※2023年12月より	827件
利用例集 (建築以外) ※2023年12月より	286件
CLTで未来に備える	1693件
CLTサミット	1514件

■技術セミナー／その他動画

第1回オンラインセミナー	1071件
第3回オンラインセミナー	1352件
第5回オンラインセミナー	1088件
第8回オンラインセミナー	1083件
CLTのけんちく ―性能編―	1067件
石破茂氏が語るCLT	1052件
「建築家が語るCLTの魅力」	1276件

■パンフレット

CLTデザインノート2019	761件
CLTコンセプトブック2019	839件
はじめるCLT建築	1232件
ARE YOU READY?	1475件

■書籍無料ダウンロード

CLT建築物の設計ガイドブック	1519件
ここまでできる木造建築のすすめ	2208件
中・大規模／都市木造建築防水設計	2075件
時流をつかめ!	1579件

■CLT相談室

CLT企画・設計相談室	1426件
CLTなんでも窓口	1339件
CLT構造相談室	1342件
CLT相談先企業	1577件

第3章 まとめ

WEBサイト「CLTから見える未来」を一昨年度よりスタートして依頼、既に53000件（2024年2月末日現在）のアクセス件数になった。アクセス件数の分析結果として、【業種別】では意匠設計者6400件、構造設計者5400件（合計11800件）全体の22%、ゼネコン・サブコン、建設会社7000件（13.2%）、流通・商社が4200件（8%）自治体・団体9954件（19%）と自治体・団体等の普及関心度が高まって来たのと、物流・商社等の企業の注目を集めている点は今後告知コンテンツも含め検討課題にしたい。

全業種にわたり共通して興味を持たれたコンテンツは3つで「中大規模木造建築ポータルサイト」データサイト、「ここまでの木造建築のすすめ」と「都市木造建築」の参考書籍（無料）、4つの「CLT相談窓口」ご案内であった。個別「業種別」において関心度合いが違い、今回数多くのメニューを提供できたことは良かったと思われる。

業種別に明確にニーズが得られたことは、これからCLTに関する普及対策に大いに役立つ材料にもなったと言える。

令和6年3月

一般社団法人 日本CLT協会